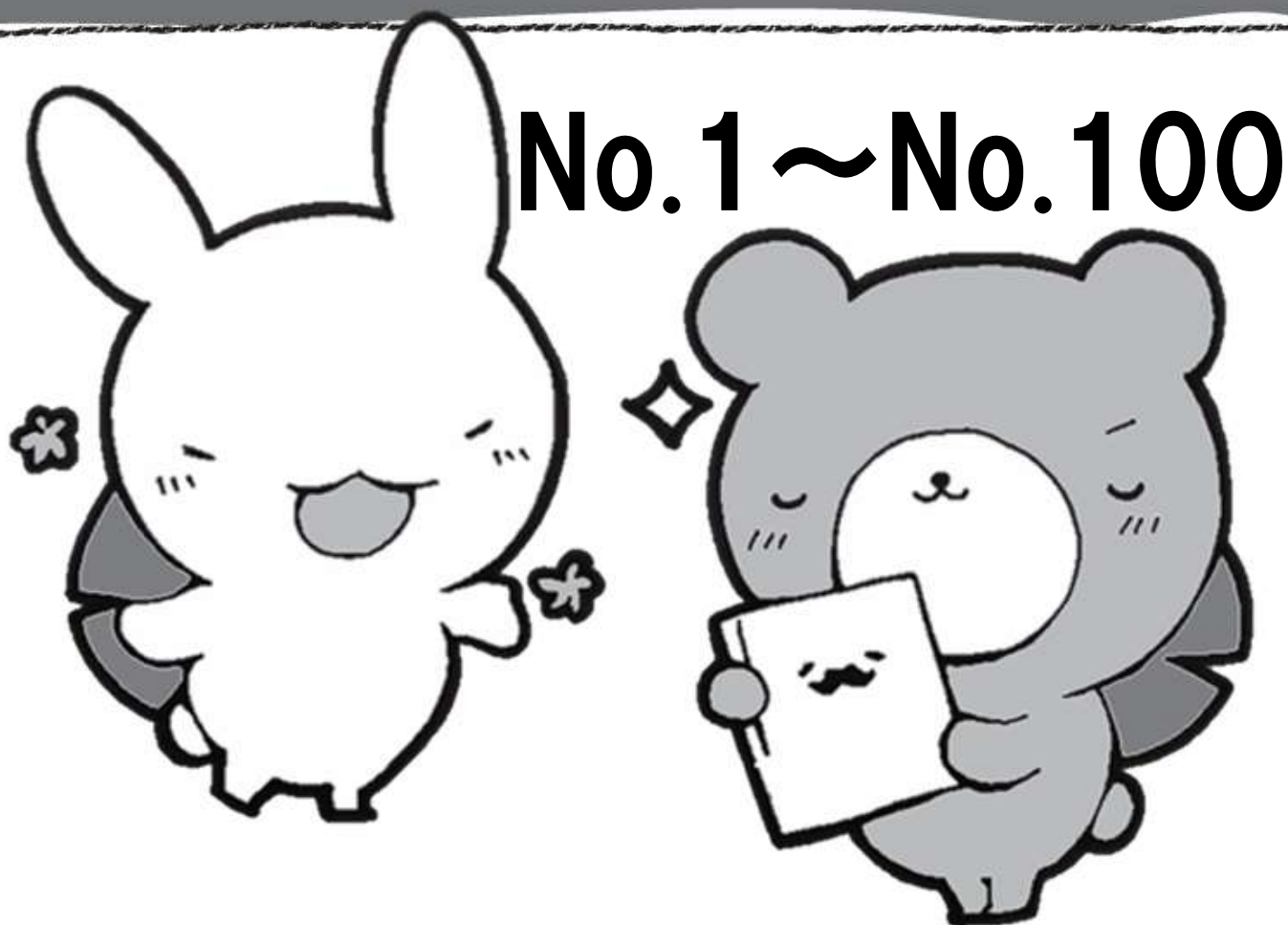




福知山市立図書館



## はじめに

### ～子どもと本との出会いのために～

幼いころからよい本に出会うことは、一生の宝物になります。

子どもたちが本を選ぶ楽しさを感じ、たくさんの本に出会ってもらうことを願い、図書館では 2015 年より「しょうかいしますこんな本」というカードを発行してきました。お料理のレシピカードのように気軽に手にとってもらえるよう、自由なテーマで 5 冊の本を紹介するカードです。

今回No. 1～No. 100までを一冊にまとめました。

この冊子が本選びのきっかけに、また子どもたちに本を届けていただく皆様の助けになれば幸いです。

福知山市立図書館

# ＊ も く じ ＊

- |                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. おふとん                 | 26. さかな                       |
| 2. しろとくろ                | 27. すもう                       |
| 3. にんじゃ                 | 28. ちきゅう                      |
| 4. おかず                  | 29. つよい                       |
| 5. どうぶつえん               | 30. きもち                       |
| 6. しりとり                 | 31. <sup>ほん</sup> 本ってすてき      |
| 7. <sup>じゅうにし</sup> 十二支 | 32. <sup>としょかん</sup> 図書館ってすてき |
| 8. おもち                  | 33. デパート                      |
| 9. かぜひき                 | 34. なつとう                      |
| 10. かいぞく                | 35. たんてい                      |
| 11. おふろ                 | 36. でんしゃ                      |
| 12. おつかい                | 37. おにいちゃん                    |
| 13. カレーライス              | 38. うそ                        |
| 14. オーケストラ              | 39. パンダ                       |
| 15. いえ                  | 40. レストラン                     |
| 16. サーカス                | 41. でんき                       |
| 17. ドーナツ                | 42. かたつむり                     |
| 18. あし                  | 43. <sup>かがくしゃ</sup> 科学者      |
| 19. くらやみ                | 44. スイカ                       |
| 20. ぎょうれつ               | 45. さかさま                      |
| 21. にわ                  | 46. ぼうけん                      |
| 22. ひまわり                | 47. まいご                       |
| 23. かわ                  | 48. ぐうたら                      |
| 24. まる                  | 49. たび                        |
| 25. おすし                 | 50. さかさことば                    |

51. じてんしゃ  
52. やまんば  
53. おおきい！  
54. いす  
55. きょうりゅう  
56. おせちりょうり  
57. こおり  
58. チョコレート  
59. かず  
60. ひっこし  
61. おはなみ  
62. がっこう  
63. ちか  
64. だんごむし  
65. キャベツ  
66. いえで  
67. かさ  
68. あさ  
69. うどん  
70. とり  
71. やま  
72. くじら  
73. ナマケモノ  
74. ぼうし  
75. とうふ

76. うるさい  
77. りんご  
78. 画家<sup>が か</sup>  
79. おやすみなさい  
80. たべる  
81. おおみそか  
82. ちょんまげ  
83. ホットケーキ  
84. いちにち  
85. ゴミ  
86. みつばち  
87. こびと  
88. かえる  
89. おようふく  
90. えんぴつ  
91. こうえん  
92. てるてるぼうず  
93. りす  
94. かくれんぼ  
95. てがみ  
96. ひげ  
97. タコ  
98. バス  
99. どんぐり  
100. ひゃく



しょうかいします  
こんな本 No.1

ぬくぬくきもちい~い

# おふとんのえほん

## 『おふとんのくに』

D(でいー)／作・絵 金の星社

あくびがでたら、おふとんのとんねるをくぐって  
しゅっぱつだ！

## 『おふとんかけたら』

かがくい ひろし／さく ブロンズ新社

たこさん、まめさん、ありさん…おふとんかけたら  
どうなるのかな？

## 『ぼくのふとん』

鈴木 のりたけ／作・絵 PHP研究所

まいにちおなじふとんじゃつまらない。

いろんなふとんをかんがえたよ。

## 『ぼくのふとんはうみでできている』

ミロコマチコ／著 あかね書房

ぼくはきょう、ねこのシロとうみのふとんでねる。

ザーンザーンとなみのおとがきこえて…

## 『ふとんちゃん』

きむら よしお／作 絵本館

そらからおちてきたふとんちゃんは、ダンス

したり、あかずきんちゃんになったり。



しょうかいします  
こんな本

No.2

# しろとくろのえほん

<sup>しろ</sup>白がすき？ <sup>くろ</sup>黒がすき？

<sup>しろくろ</sup>いろんな白黒がでてきます。

『おおきなねこのクロと

ちいさなねこのシロ』

にしまき かやこ／作 偕成社

2ひきのねこの、こころあたたまるおはなし。

『おしろとおくろ』

丸山 誠司／著 佼成出版社

<sup>しろ</sup>お城のおしろじいさんとおくろじいさん。

どっちのひげがりっぱか、しょうぶだ！

## 『しろもくろも、みんなおいで』

あべ 弘士／作 童心社

まっしろ、まっくろ、しろくろのもよう、きせつでかわる  
しろくろ。いろんな<sup>どうぶつ</sup>動物がいるよ。

## 『<sup>しろ</sup>白い池<sup>いけくろ</sup>黒い池<sup>いけ</sup> イランのおはなし』

ヴァリ・ミンツィ／絵 光村教育図書

なくなつたお母<sup>かあ</sup>さんがくれた毛糸<sup>けいと</sup>玉<sup>だま</sup>をころがしてしまった  
シラーズ。おばあさんは、たのみごとをきいてくれたら  
毛糸<sup>けいと</sup>を返<sup>かえ</sup>してくれるというのですが…

## 『しろいうさぎとくろいうさぎ』

ガース・ウィリアムズ／ぶん, え 福音館書店

ひろい<sup>もり</sup>森にすんでいる、なかよしのうさぎのおはなし  
です。



しょうかいます  
こんな本 No.3

にんにん、さんじょう！

## にんじゃのえほん

### 『どじにんじゃ』

新井 洋行／作・絵 講談社

やることなすことドジばかり！

### 『あかにんじゃ』

穂村 弘／作 岩崎書店

あかいからすぐみつかる。みつかると、

ドロンドローンとすがたをかえて…

## 『ニンジャさるとびすすけ』

みやにし たつや／作絵 ほるぷ出版

おなやみ<sup>にんじゃ</sup>忍者<sup>しゅぎようちゆう</sup>すすけは修行中。

## 『いいからいいから 4』

長谷川 義史／作 絵本館

あるひ、おとうさんがにんじゃをうちにつれてかえって  
きたが…

## 『よふかしにんじゃ』

エド・ヤング／絵 光村教育図書

まよなかでござる。

にんじゃはなにをすることでござるか。



しょうかいします  
こんな本 No.4

こんやはなあに？

## おかずのえほん

### 『きょうのごはん』

加藤 休ミ／作 偕成社

えほんをあけるといいにおいがしてくるようです。

### 『うちのコロッケ』

村上 康成／絵 世界文化社

きょう「今日の晩御飯はコロッケに決定！」とお父さんが  
ばんごはん  
けってい  
とういいました。

## 『おでんしゃ』

塚本 やすし／作 集英社

ほかほかおいしいおでんの具たちが電車でんしゃになって  
たび旅たびをするよ。

## 『まほうのでんしレンジ』

さいとう しのぶ／作・絵 ひかりのくに

おさらをいれて食たべたいものを歌うたうと、ごちそうが  
でてくるふしぎなでんしレンジ！

## 『串くしかつやよしこさん』

長谷川 義史／作 アリス館

串くしカツめいじん、よしこさんの作つくる串くしカツはひとを  
しあわせにします。



しょうかいします  
こんな本 No.5

いこうよ、いこうよ♪  
**どうぶつえんの  
えほん**

**『ぼくんちどうぶつえん』**

大島 妙子／絵 童心社

ぼくんちは、とってもたのしいどうぶつえんです。

さあ、はいってみてください。

**『つんつくせんせいどうぶつえんに行く』**

たかどの ほうこ／さく・え フレーベル館

パンダだけほめて、ほかのどうぶつたちのわるくちを

いうつんつくせんせいをやっつけようとして…

## 『したのどうぶつえん』

あき びんご／作 くもん出版

「どうぶつえんまええき」でおりたら、かいだんが  
したにのびていて…

## 『シルヴィーどうぶつえんへいく』

ジョン・バーニンガム／さく BL出版

シルヴィーのしんしつのかべにあるドアをあけると、  
なんとそこは、どうぶつえん！

## 『おしゃべりどうぶつえん』

高畠 那生／絵 絵本館

しいくがかり  
飼育係のおてつだいをしている、もゆちゃんの  
につき  
かんさつ日記。



しょうかいします  
こんな本

No.6

「ん」がついたらおしまい

## しりとりのおほん

### 『しりとりしましょ！』

さいとう しのぶ／作 リーブル

たべものがたくさんでできますよ。

### 『しりとりさんぽ』

壁谷 芙扶／絵 小学館

しりとりしながら、どんどんあるいていけちゃいます。

## 『十二支のしりとりえほん』

高畠 純／作 教育画劇

じゅうにし どうぶつ  
十二支の動物たちがしりとりで大活躍。だいかつやく

## 『しりとりのだいすきなおうさま』

はた こうしろう／絵 鈴木出版

なんでもしりとりのじゅんばんどおりじゃないと  
きがすまないおうさまのおはなし。

## 『おえかきしりとり』

新井 洋行[ほか]／作 講談社

こたえはあとで。えをみてかんがえてみてね。



しょうかいします  
こんな本 No.7

「えと」ともいいます  
じゅうにし  
**十二支のえほん**

じゅうにし  
**『十二支のはじまり』**

高谷 まちこ／ぶんとえ ハッピーオウル社

ちゅうごく えと  
中国でうまれた「干支」のおはなし。

せかい じゅうにし  
世界の十二支ものっています。

じゅうにし こばなし  
**『十二支のどうぶつ小噺』**

川端 誠／作 BL出版

じゅうにし どうぶつ らくご えほん  
十二支の動物たちをネタにしたたのしい落語の絵本  
です。

じゅうにし      どし  
『どうして十二支にネコ年はないの？』

メイロ・ソー／絵 徳間書店

ぼくはネコのマオ。とつぜん、むかしむかしのネコに  
なって、エミリにじゅうにし十二支のおはなしをはじめたんだ…

じゅうにし  
『十二支のしんねんかい』

柳原 良平／画 こぐま社

じゅうにし  
十二支そろってたのしいしんねんかい。  
みんなのごしょうかいとごあいさつです。

『わかりますとも！』

五味 太郎／作 クレヨンハウス

どし  
サル年のひとはこんなひと？  
え と えほん  
「千支セトラ絵本」シリーズ。



しょうかいします  
こんな本 No.8

あつあつふっくら

# おもちのえほん

## 『おもち！』

村上 康成／絵 小峰書店

ぺったんぺったんぺたぺったん、  
おもちをついたらあらふしぎ！

## 『おもちのおふろ』

植垣 歩子／絵 学研教育出版

おもちのもーちゃんとちーちゃん、  
のんびりできるおふろはあるのかな？

## 『もちっこやいて』

やぎゅう げんいちろう／さく 福音館書店

やいて、ひっくりかえして…みぶりてぶりであそべる、

ほうげん

方言がたのしいわらべうたえほん。

## 『もちもちおもち』

庄司 三智子／著 岩崎書店

あんこに、きなこに、いそべまき、

いろんなおもちがでてきます♪

## 『おもちのきもち』

かがくい ひろし／作・絵 講談社

たごさくさんのいえから、かがみもちがにげだした。

にげだしたおもちの<sup>けっしん</sup>決心とは。



しょうかいします  
こんな本 No.9

ぶるぶる、はーくしょん！

## かぜひきのえほん

### 『エイモスさんがかぜをひくと』

エリン・E. ステッド／絵 光村教育図書

どうぶつえん

動物園ではたらくエイモスさんが、かぜでやすんで

しました。どうぶつ動物たちは心配しんぱいでなりません。

### 『ねつでやすんでいるキミへ』

しりあがり 寿／作・絵 岩崎書店

ねつをだしてやすんでいる「キミ」。はやくげんきになっ  
て、とねがっているひとがいます。

## 『まじょがかぜをひいたらね』

高畠 純／え 理論社

まじょはかぜをひいても、びょういんへいきません。

まじょならではのほうほうでなおします。

## 『かぜをひいたケイティ』

ケイティ・ブラタン／絵 サイエнтиスト社

ケイティはくしゃみがとまりません。おねつは？<sup>はなみず</sup>鼻水は？

ヒッポ<sup>せんせい</sup>先生のびょうきにあわてないシリーズ。

## 『かぜひいちゃった<sup>ひ</sup>日』

キム ドンス／作・絵 岩崎書店

ダウンジャケットから1まいのはねがとびだしていた。

どうしてかな、とかんがえているうちに…



しょうかいします  
こんな本 No.10

うみのあばれんぼう

## かいぞくのエほん

### 『かいぞくりらちゃん』

ジョージ・バーケット／さく 評論社

りらちゃんはいぞくだぜい。

なかまたちとかいぞくせんでぼうけんだ。

### 『かいぞくはパンツがだいすき』

ベン・コート／絵 講談社

きんいろにかがやく、でんせつのパンツをさがしに

しゅっぱつだ！

かいぞく  
『海賊』

田島 征三／作 ポプラ社

ひとりのかいぞく海賊があるひ、にんぎょ人魚をひとめみて、  
こいにおちた。

『かいぞくのうた』

和田 誠／作 あかね書房

ほんをよんでいたら、かいぞくになりたいくなった。  
ぼくはうちをでた。

かいぞく  
『こうしてぼくは海賊になった』

デイビッド・シャノン／絵 評論社

ぼくは、かいぞく海賊のこと、し知ってるんだ。  
なぜかというとなね…



しょうかいします  
こんな本 No.11

ちゃぷちゃぷ きもちい～い

# おふろのえほん

～「おうち」のまき～

## 『わにわにのおふろ』

山口 マオ／え 福音館書店

わにわにはおふろがだいすきです。

うたもうたってじょうきげん！

## 『おふろにいれて』

せな けいこ／作・絵 ポプラ社

りゅうりゃんがおふろにはいっていると「ぼくもいれて」

といぬさんがやってきた。つぎにきたのは…

## 『おふろ』

出久根 育／作・絵 学研

ひとりでおふろにはいるのは、ドキドキする。

ほら、でたよ！

## 『おふろだいすき』

林 明子／絵 福音館書店

ぼく、おふろだいすき。いっしょにはいる、あひるの  
プッカもおふろだいすきだよ。

## 『おふろのおふろうくん』

及川 賢治／作 学研

おふろにいるのはだれだろう。それは、おふろが  
だいすきなおふろうくんです。



しょうかいします  
こんな本 No.12

ドキドキ！できるかな？

## おつかいのえほん

### 『はじめてのおつかい』

林 明子／え 福音館書店

あかちゃんのぎゅうにゅうをかいに。ままとのやくそく  
は、くるまにきをつけること、おつりをわすれないこと。

### 『こぶたのかばん』

佐々木 マキ／作 金の星社

ぐぶたのきいろいかばん。おかあさんにたのまれた  
けちゃっぷをかって、いれたのですが…

## 『オンブバッタのおつかい』

やました こうへい／絵 教育画劇

とめさんは、こんじきどうにだんごとどけに  
でかけました。<sup>えど</sup>江戸のふぜい<sup>たの</sup>が楽しいシリーズ。

## 『おつかいくん』

鈴木 のりたけ／作 小学館

かいがらをかぶったおつかいくんがおつかい<sup>い</sup>に行くよ。  
<sup>めいろ</sup>迷路<sup>えほん</sup>になっている絵本。

## 『<sup>ばしや</sup>馬車でおつかいに』

ウィリアム・スタイグ／さく 評論社

パーマーさんとエベネザーじいさんは、いちばで  
<sup>やさい</sup>野菜<sup>かえ</sup>を売って、帰ろうとしましたが…



しょうかいします  
こんな本 No.13

だいす  
みんな大好きメニュー！

# カレーライスの えほん

## 『ひみつのカレーライス』

田中 清代／絵 アリス館

だいすきなカレーライスをたべていると、かりっ。

カレーのたねがでてきました。

## 『ぼくんちカレーライス』

つちだ のぶこ／作 佼成出版社

ぼく、カレーがたべたくなっちゃった。そうしたら、

みんなカレーがたべたくなっちゃったみたい。

## 『おともだちカレー』

江川 智穂／絵 世界文化社

ひとりでいるのがすきな、うさぎちゃん。みんなは  
うさぎちゃんとなかよくなりたいんだよ。

## 『カレーだいおうのまほう』

石倉 ヒロユキ／作・絵 ひさかたチャイルド

インドからやってきたカレー<sup>だいおう</sup>大王が、不思議<sup>ふ し ぎ</sup>な呪文<sup>じゅもん</sup>を  
<sup>とな</sup>唱え<sup>とな</sup>ると…。

## 『かえるとカレーライス』

長 新太／さく 福音館書店

やまからけむりがでてきて、おおきなカレーライス<sup>やま</sup>山  
ができました。



しょうかいします  
こんな本 No.14

じゃじゃじゃじゃーん♪

## オーケストラの えほん

### 『105にんのすてきなしごと』

マーク・シーモント／絵 あすなろ書房

がくだんいん

楽団員たちは、よるのえんそうかいにむけて、  
じゅんびをします。

### 『おーちゃんのおーけすとら』

ディック・ブルーナ／ぶん／え 福音館書店

11にんのおーけすとらです。とらんぺっと、ふるーと、  
バイオリン…おーちゃんは、なにをひくのかな。

## 『オーケストラ<sup>わら</sup>笑う』

小澤 一雄／作・絵 ポトス出版

レミとドラは音楽<sup>おんがくだいす</sup>大好ききょうだい。おじさんが<sup>しゅつえん</sup>出演するオーケストラのコンサートにやってきました。

## 『野<sup>の</sup>はらの音楽家<sup>おんがくか</sup>マヌエロ』

ドン・フリーマン／作 あすなろ書房

カマキリのマヌエロは<sup>うつく</sup>美しいえんそうにききほれ、  
じぶんでもきれいな音<sup>おと</sup>をだしたくなりました。

## 『もりのおんがく』

谷内 こうた／絵と文 講談社

もりにさしこんでくるひかりのなかで、おんがくが  
はじまった。



しょうかいします  
こんな本 No.15

それぞれのくらしがあります

## いえのえほん

ひゃくねん いえ  
『百年の家』

ロベルト・インノチェンティ／絵 講談社

いっけん ふる いえ くひとひと ひゃくねん  
一軒の古い家が、そこに暮らす人々とともに百年の  
れきし  
歴史をつむぎます。

## 『ぼくのいえにけがはえて』

石井 聖岳／絵 くもん出版

へんなおとでめがさめたぼくはびっくり！

ぼくはいそいで、とこやさんにはしりました。

## 『ちいさいおうち』

バージニア・リー・バートン／文・絵 岩波書店

おかのうえのちいさいおうち。ときがたって、  
まわりはだんだんかわっていきます。

## 『わたしのいえ』

カーソン・エリス／作 偕成社

いなかのいえ、まちなかのいえ、せいたかのっぽのいえ、  
ひくいいえ…あなたのいえはどんないえ？

## 『おじいさんのいえ』

植垣 歩子／さく 偕成社

おじいさんは、たびのとちゅう、いろんないえで  
やすませてもらいます。



しょうかいします  
こんな本 No.16

ハラハラ、ドキドキ、ワクワク！

## サーカスのえほん

### 『サーカス！』

ピーター・スピーア／作 福音館書店

サーカスだんがやってきた！テントをはり、  
じゅんびをします。

### 『たまごサーカス』

ふくだ じゅんこ／作 ほるぷ出版

ピエロのまねをしてたまごをほうりなげたら、  
おとしてわれちゃった！

## 『すごいサーカス』

古内 ヨシ／作 絵本館

どうぶつたちのサーカス、とにかくすごいんです…？！

## 『てんつくサーカス』

田中 六大／え くもん出版

てんてんつくつく、てんつくサーカスがやってきた！

てんてんついたら、はやがわり！

## 『へんてこサーカス』

フィリケえつこ／作 ほるぷ出版

よーくみると、あらふしぎ。うごいてないのにうごいて

みえる。<sup>め</sup>目がだまされてしまうえほん。



しょうかいします  
こんな本 No.17

あなからむこうがみえるよ

## ドーナツのえほん

### 『きょうはすてきなドーナツようび』

山田 詩子／絵 アリス館

いちどたべたひとはかならずまたかいにくるくらい、  
おいしいドーナツやさんのおはなし。

### 『ドーナツだいこうしん』

レベッカ・ボンド／さく 偕成社

いちばんさいしょは、ドーナツひとつ。おいしそう、  
たのしそうと、だんだんみんながついてきた！

## 『ドーナツなんかいらないよ』

マーク・アラン・スタマティー／おはなしとえ 国書刊行会  
サムには、たりないものはなにもない。けれども、  
とにかくたくさんのドーナツがほしいんだ！

## 『いかすぜ！ ブブヒコ〜チワワとドーナツ！のまき』

大島 妙子／絵 文溪堂

パパしゃんにかってもらったドーナツがコロコロ  
ころがっていった！

## 『クマさんのドーナツ』

みやざき ひろかず／作・絵 ひかりのくに  
わすれんぼうのクマさん。「あれっ、ぼくはなにを  
たべたかったんだっけ？」



しょうかいします  
こんな本

No.18

うらはあるけど、おもてはない？

## あしのえほん

### 『あし によきによき』

深見 春夫／作・絵 岩崎書店

おおきなそらまめをたべると、ポコさんのあしが  
によきによきのびてきて…

### 『あしのうらのはなし』

やぎゅう げんいちろう／さく 福音館書店

ゴリラとはちがう？オランウータンとは？

にんげんのあしはどうなっているのかな。

## 『あしなが』

あきやま ただし／作・絵 講談社

あしながは、くびやしっぽまですらりとながい、  
うつくしい<sup>いぬ</sup>犬でした。

## 『でっこりぼっこり』

高畠 那生／作 絵本館

きょだいじんのあつたあとは、ぼっこりあなが  
あいている。そして、<sup>ちきゅう</sup>地球のうらがわには…？

## 『ひとあしひとあし』

レオ・レオニ／作 好学社

ちいさなみどりのしゃくとりむしは、あるいて<sup>なが</sup>長さを  
はかりました。



しょうかいします  
こんな本 No.19

きみはみたことがあるか

## くらやみのえほん

### 『くらいところからやってくる』

小林 系／絵 講談社

あかりをつけたまま、ねちゃいけないの？

くらいところから、何かが<sup>なに</sup>見<sup>み</sup>ているような<sup>き</sup>気がするよ。

### 『くらくてあかるいよる』

ジョン・ロツコ／作 光村教育図書

いつもどおりの<sup>なつ</sup>夏<sup>よる</sup>の夜。

まちのあかりが、みるみるきえた！

## 『おいしいのぼうけん』

たばた せいいち／〔画〕 童心社

おひるねの時間<sup>じかん</sup>にいつまでもさわいでいると、  
まっくらなおしいれにいれられてしまうよ！

## 『きみはうみ』

西 加奈子／絵と文 スイッチ・パブリッシング

あのきれいな海<sup>うみ</sup>にもくらやみがある。くらやみも、  
とってもきれいな場所<sup>ばしょ</sup>なんだよ。

## 『おばけのきもだめし』

山本 孝／絵 岩崎書店

おばけもおばけがこわいんです…。



しょうかいします  
こんな本 No.20

ずら～っとならんだら…

# ぎょうれつの えほん

## 『3じのおちゃんにきてください』

なかの ひろたか／え 福音館書店

まりちゃんは、たくさんの<sup>とも</sup>友だちをさそって、お<sup>ちゃ</sup>茶に  
でかけます。

## 『ぎょうれつのできるすうぷやさん』

ふくざわ ゆみこ／さく 教育画劇

おいしそうなおいをたどっていくと、そこは  
まじよの<sup>いえ</sup>家！

## 『きょうはだいじゅうたい』

劉 貞秀／絵 金の星社

きょう　とう　だい  
今日はお父さんとドライブ！大じゅうたいに  
はまっちゃったよ。

## 『でっこりぼっこり』

高畠 那生／作 絵本館

きょだいじんのあつたあとは、ぼっこりあなが  
あつてゐる。そして、ちきゅうのうらがわには…？

## 『ひとあしひとあし』

レオ・レオニ／作 好学社

ちいさなみどりのしゃくとりむしは、あつてながさを  
はかりました。



しょうかいします  
こんな本 No.21

そだててたのしい  
**にわのえほん**

にわ  
『庭をつくろう！』

ゲルダ・ミューラー／作 あすなろ書房

ひっこしてきた<sup>いえ</sup>家の<sup>にわ</sup>庭は、あれほうだい！

すてきな<sup>にわ</sup>庭をつくるには？

『うえきやのくまさん』

フィービ・ウォージントン／さく・え 福音館書店

うえき<sup>や</sup>屋のくまさんは、となりのうちへ<sup>にわ</sup>庭の<sup>てい</sup>手入れに  
いきます。

## 『ローズのにわ』

ピーター・レイノルズ／作 主婦の友社

ローズは、<sup>せかいじゅう</sup>世界中をぼうけんし、きねんに、<sup>はな</sup>花のたねを  
あつめました。

## 『庭<sup>にわ</sup>にたねをまこう！』

ジョーン・G. ロビンソン／文・絵 岩波書店

何日<sup>なんにち</sup>もかけて土<sup>つち</sup>をたがやして、たねをまいた庭<sup>にわ</sup>には、  
やがて<sup>はな</sup>花がさき、<sup>とり</sup>鳥がやってきました。

## 『ルラルさんのにわ』

いとう ひろし／作 ポプラ社

ルラルさんのじまんのにわに、<sup>おお</sup>大きな<sup>まるた</sup>丸太。

けとばそうしたら、<sup>まるた</sup>丸太が<sup>くち</sup>口をあけて…！



しょうかいします  
こんな本 No.22

おひさまのはな

# ひまわりのえほん

## 『ひまわり』

荒井 真紀／文・絵 金の星社

ひまわりのたねを、まいてみましょう。

ひまわりの<sup>いっしょう</sup>一生がわかる<sup>えほん</sup>絵本。

## 『バスがくるまで』

黒井 健／え 小峰書店

くまのこは、バスのていりゅうじょまで

おばあちゃんをむかえにいきます。

## 『ひまわり』

和歌山 静子／作 福音館書店

ちいさなたねが、どんどこどんどこそだちます。

## 『ひまわりのおか』

松成 真理子／絵 岩崎書店

<sup>つなみ</sup>津波でわが<sup>こ</sup>子をなくしたおかあさんたちは、<sup>しょうがっこう</sup>小学校の  
そばにたくさんのひまわりを<sup>う</sup>植えました。

## 『なつですよ』

近藤 薫美子／え 金の星社

「こんにちは なつですよ」…いろんなところになつが  
きました。



しょうかいします  
こんな本 No.23

ながれていくよ

## かわのえほん

### 『ちいさいかわのうた』

田頭 よしたか／絵 ひさかたチャイルド

ちい かわ うみ  
小さい川は、はしります。海にあうために…

### 『かわ』

鈴木 のりたけ／著 幻冬舎

やま あめ ふ おお なが  
山に雨が降り、だんだん大きな流れになっていきます。

かわ なか せかい  
川の中の世界をのぞいてみよう！

かわ なか  
『川の中で』

宮本 忠夫／え くもん出版

かわ いし  
川の石は、ひさしぶりに目をさました。川の石は、  
ちい  
小さなまるいつぶにかこまれていました。

かわ  
『ひみつの川』

レオ・ディロン／絵 BL出版

かわ と さかな むらびと せいかつ すく  
ひみつの川で取れた 魚 は、村人たちの生活を救いました。  
かわ ふ し ぎ  
川をめぐる不思議なおはなし。

『かわ』

加古 里子／作・画 福音館書店

やま ゆき  
山の雪がとけてながれ、山の中、たんぼ、まちをとおり、  
うみ で み  
海に出るまでを見ることができます。



しょうかいします  
こんな本 No.24

くるくる、ころころ…

## まるのえほん

### 『まんまるがかり』

おくはら ゆめ／作 理論社

ねこのハナマルは、まんまるがかり。アヤちゃんも

いっしょにまるくなるよ。まんまる<sup>たいそう</sup>体操つき。

### 『まるいねまるいぬ』

ダン・ヤツカリーノ／絵 BL出版

しかくいおうちに<sup>す</sup>住んでいるのは、くるんとまーるく

なってねむる2ひきの<sup>いぬ</sup>犬です。

## 『まるまるまるのほん』

エルヴェ・テュレ／さく ポプラ社

これは読む本ではありません。「まる」で遊ぶ本です。

## 『まるいもののなかに』

荒井 真紀／絵 ポプラ社

まるいものの中には何があるの？

詩を味わう優しい絵本。

## 『まんまるパン』

Yoko-Bon／にんぎょう 群像社

まあるいパンがころころころがる、ロシアのお話。

人形の写真絵本です。



しょうかいします  
こんな本 No.25

まわっても、まわってなくても

## おすしのえほん

### 『おすしのせかいりょこう』

鈴木 まもる／絵 金の星社

おすしは店を<sup>みせ</sup>とびだして、世界を<sup>せかい</sup>まわる<sup>たび</sup>旅に<sup>で</sup>出た。

### 『まわるおすし』

長谷川 義史／作 ブロンズ新社

つき いちど  
月に一度のまわるおすしの<sup>ひ</sup>日。きあいをいれて  
いくぞー！

## 『おすしですし！』

田中 六大／絵 あかね書房

すしおくんは、おすしやさんになりたいくて、しゅぎょうの  
<sup>たび</sup>旅にでました。ことばあそびの<sup>ほん</sup>本。

## 『おすしのうた』

牛窪 良太／絵・文 教育画劇

くるくるまわるステージから、おすしたちの<sup>うたごえ</sup>歌声が  
きこえてきます。

## 『くまのおすしやさん』

やまもと たかし／作 佼成出版社

<sup>とくべつ</sup>特別なネタをしいれて、<sup>いちねん</sup>一年に<sup>かい</sup>3回だけ<sup>かいてん</sup>開店する、  
おすしやさんです。



しょうかいします  
こんな本 No.26

すいすいおよぐよ

# さかなのえほん

## 『あじのひらき』

井上 洋介／えとぶん 福音館書店

<sup>かぜ</sup>風にふかれて、あじのひらきは<sup>と</sup>飛んでった…!

## 『さかなはさかな』

レオ・レオニ／作 好学社

<sup>いけ</sup>池の中の <sup>なか</sup>おたまじゃくし と <sup>に</sup>こざかな。二ひきは  
とてもなかよしだった。

## 『さかなださかなだ』

長野 ヒデ子／作・絵 偕成社

大きな<sup>さかな</sup>魚<sup>りょうり</sup>をお料理するよ！

## 『さかなってなにさ』

せな けいこ／作・絵 金の星社

クローバーばかりたべてるうさぎさん、<sup>さかな</sup>魚のほうがおいしいよ。

## 『おさかないちば』

加藤 休ミ／作 講談社

まだ暗い朝早くから、<sup>くら</sup>市場には<sup>あさはや</sup>新鮮な<sup>いちば</sup>魚<sup>しんせん</sup>がいっぱい！<sup>さかな</sup>



しょうかいします  
こんな本 No.27

はつきよ〜い！

## すもうのえほん

### 『はつきよいどーん』

やまもと ななこ／作 講談社

ゆうしょう き おおいちばん  
優勝を決める大一番！まったなし！はつきよい…！

はくりよくまんてん えほん  
迫力満点のすもう絵本。

### 『りきしの<sup>はる</sup>春』

本 秀康／絵 あかね書房

なまえ よこづな  
ぼくの名前は「たかのつめ」。横綱の”たかのはな”

つよ  
みたいに強くなるんだ。

はたけばしよ  
『はっきよい畑場所』

かがくい ひろし／作 講談社

はたけばしよ せんしゅうらく りきし はたけ やさい  
畑場所の千秋楽！力士はもちろん、畑の野菜たち  
です。

『りきしのほし』

加藤 休ミ／著 イースト・プレス

りきし  
おいら、力士の かちかちやま。がんばって稽古をして、  
つよ  
強くなるっす！

『スモウマン』

長谷川 義史／え 講談社

ひと よ  
こまっている人がいたら呼んでくれ。ドスコイ！と  
せいぎ みかた さんじょう  
正義の味方スモウマン参上だ。



しょうかいします  
こんな本 No.28

みんなのもの  
**ちきゅうのえほん**

『みんないる』

かさはら のりゆき／作・絵 ひさかたチャイルド

うし<sup>うし</sup>がいて、うま<sup>うま</sup>がいて…とも<sup>とも</sup>だちがいて、かぞく<sup>かぞく</sup>がいる。

みんな<sup>だいじ</sup>の大事なものだよ。

ちきゅう  
『もしも地球が…？』

ポーラ・クルーナン／絵 評論社

ちきゅう<sup>ちきゅう</sup>「もしも地球が…？」とかんが<sup>かんが</sup>えてみるゲームをすることに  
した。

## 『まるいちきゅうのまるいちにち』

エリック・カール／〔ほか絵〕 童話屋

せかいじゅう こ せかい くに  
世界中に子どもがいます。世界のいろんな国の  
えほん さっか つく えほん  
絵本作家がいっしょに作った絵本。

## 『地球パラダイス』

石井 聖岳／絵 偕成社

もり のはら ちきゅう  
森で、野原で…みんな地球のできごとです。  
くどう なおこ し え  
工藤直子さんの詩とカラフルな絵がぴったりです。

## 『地球をほる』

川端 誠／作 BL出版

じめん あな ちきゅう うらがわ  
地面に穴をほって、地球の裏側へいってみよう！  
うし よ ほん  
後ろからも読める本。



しょうかいします  
こんな本 No.29

けっしてまけない

## つよい！のえほん

### 『おによりつよいおよめさん』

吉田 尚令／絵 岩崎書店

ある日、らんぼうものの<sup>おに</sup>鬼が、嫁<sup>よめ</sup>をもらおうと<sup>むら</sup>村に  
やってきたが…。

### 『もりでいちばんつよいのは？』

アクセル・シェフラー／え 評論社

<sup>もり</sup>森でいちばん<sup>つよ</sup>強いグラフィロ！…って、  
<sup>し</sup>きみ知らないの？！

## 『いちばんつよいのはオレだ』

マリオ・ラモ／作 平凡社

オオカミは「いちばん<sup>つよ</sup>強いのは誰<sup>だれ</sup>だ」と森<sup>もり</sup>のみんなに  
きいてまわります。

## 『もうよわむしじゃない』

宮西 達也／絵 鈴木出版

ずっと、よわむしじゃだめ！ いっちゃん<sup>こえ</sup>の<sup>き</sup>声が聞こえ  
たんだ。

## 『おによりつよいおれまーい』

土方 久功／再話／画 福音館書店

おれまーい は、大人<sup>おとな</sup>たちもおそれる<sup>つよ</sup>強い<sup>こ</sup>子どもに  
<sup>せいちょう</sup>成長<sup>しま</sup>しました。サトワヌ島<sup>みんな</sup>の民話。



しょうかいします  
こんな本 No.30

どんなときもあるよね

## きもちのえほん

### 『うれしいさんかなしいさん』

まつおか きょうこ／さく・え 東京子ども図書館

「うれしいさん」になったり、「かなしいさん」に

なったり。<sup>まえ</sup>前からでも<sup>うし</sup>後ろからでも<sup>よ</sup>読める<sup>ほん</sup>本。

### 『かなしいときには』

キャシー・パーキンソン／絵 PHP研究所

ときどき<sup>かな</sup>悲しくなっちゃうの。

<sup>だれ</sup>誰にでも<sup>とき</sup>そんな時はあるよね。

## 『さびしいはさびしくない』

田頭 よしたか／絵 教育画劇

どっかの山<sup>やま</sup>からきた、ひとりぼっちのたぬきくん。  
「さびしくない！」っていうんだけど…。

## 『うれしいがいっぱい』

大島 妙子／絵 ひかりのくに

みんなが得意<sup>とくい</sup>なことをしたら、嬉しい<sup>うれ</sup>ことが  
いっぱい！

## 『ママがおこるとかなしいの』

望月 麻里／絵 金の星社

メグちゃんは、わがママのおこりんぼう。

…本当<sup>ほんとう</sup>にそうなのかしら？



しょうかいします  
こんな本 No.31

ほん

本ってすてき！

のえほん

『エリザベス<sup>ほん むし</sup>は本の虫』

デイビッド・スモール／絵 アスラン書房

エリザベス<sup>う</sup>ったら、生まれてすぐに字<sup>じ</sup>をおぼえて、  
くる日<sup>ひ</sup>もくる日<sup>ひ</sup>も本<sup>ほん</sup>ばかり！

『ほんなんてだいきらい！』

マイケル・エンバリー／え 主婦の友社

どうして本<sup>ほん</sup>を読<sup>よ</sup>まなきゃいけないの？

あたしは、本<sup>ほん</sup>が好<sup>す</sup>きじゃないんだから…。

## 『もっかい！』

エミリー・グラヴェット／さく フレーベル館

そろそろ、おやすみの時間<sup>じかん</sup>。ドラゴンの子<sup>こ</sup>、セドリックは  
お気に入りの絵本<sup>えほん</sup>を<sup>き</sup>読<sup>い</sup>んでももらいたくて…

## 『よにもふしぎな本<sup>ほん</sup>をたべるおとこのこのはなし』

オリヴァー・ジェファーズ／作 ヴィレッジブックス

ねえ、ヘンリー、本<sup>ほん</sup>を<sup>た</sup>食<sup>あたま</sup>べると頭<sup>よ</sup>が良くなるってホント？

## 『ほんちゃん』

スギヤマ カナヨ／さく 偕成社

本<sup>ほん</sup>ってどんな気持<sup>きも</sup>ちなのかな？

本<sup>ほん</sup>の子<sup>こ</sup>ども「ほんちゃん」が主人公<sup>しゅじんこう</sup>です。



しょうかいします  
こんな本 No.32

としょかん  
**図書館って**  
**すてき！のえほん**

『としょかんライオン』

ケビン・ホークス／え 岩崎書店

としょかん 図書館にライオンが<sup>はい</sup>入ってきましたよ！

さあ、どうしましょ！

としょかん  
『ぼくの図書館カード』

グレゴリー・クリスティ／絵 新日本出版社

じぶん ちから ほん よ 自分<sup>こくじん</sup>の力<sup>としょかん</sup>で本<sup>りよう</sup>を読<sup>ねんだい</sup>みたい！でも、黒人<sup>なんが</sup>は図書館<sup>はなし</sup>を利用<sup>りよう</sup>で  
きませんでした。1920年代のアメリカ南部の話。

## 『としょかんねずみ』

ダニエル・カーク／さく 瑞雲舎

サムは<sup>としょかん</sup>図書館にすんでいて、たくさん<sup>ほん</sup>本を<sup>よ</sup>読みました。  
そして、自分でも<sup>じぶん</sup>本<sup>ほん</sup>を<sup>か</sup>書いてみることにしたのです！

## 『しずかに！

ここはどうぶつのとしょかんです』

ドン・フリーマン／作 BL出版

<sup>きょう</sup>今日の<sup>としょかん</sup>図書館は、<sup>どうぶつ</sup>動物が<sup>き</sup>来てもいい<sup>とくべつ</sup>特別な<sup>ひ</sup>日です。

## <sup>やま</sup>『山のとしょかん』

小泉 るみ子／絵 文研出版

おばあさんは、ふしぎな<sup>おとこ</sup>男<sup>こ</sup>の子に<sup>えほん</sup>絵本を<sup>よ</sup>読んであげま  
した。すると、<sup>おとこ</sup>男<sup>こ</sup>の子は<sup>まいよ</sup>毎夜やってくるようになり…



しょうかいします  
こんな本 No.33

たのしくおかいもの♪  
**デパートのえほん**

『びっくり！どうぶつデパート』

スギヤマ カナヨ／絵 アリス館

にちようび か もの い  
日曜日、デパートに買い物に行った。あれあれ、なぜか  
どうぶつ  
動物たちがいっぱいだよ。

『ペンギンのおかいもの』

さかざき ちはる／著 WAVE出版

ペンギンのスイツピは5人きょうだいでお買い物に  
いきます。みんな何を<sup>なに</sup>かう<sup>か</sup>のかな。

# 『デパートねずみルーシーのいそがしいいちにち』

タイース ファンデルハイデン／作 えほんの杜

おおぜいの仲間<sup>なかま</sup>とデパートでくらしてるルーシー。

きょう なかま けっこんしき じゅんぴ おお  
今日は仲間の結婚式の準備で大いそがしよ。

# 『すっぽんぽんのすけデパートへいくのまき』

荒井 良二／絵 鈴木出版

デパートであばれる犬<sup>いぬ</sup>の忍者<sup>にんじゃ</sup>。正義<sup>せいぎ</sup>のみかた、  
すっぽんぽんのすけにまかせなさ〜い！

# 『アリゲール デパートではたらく』

植垣 歩子／作 ブロンズ新社

レストランでお食事<sup>しょくじ</sup>。あれれ！お金<sup>かね</sup>が足り<sup>た</sup>ない！

では、デパートで働<sup>はたら</sup>いてはらってもらいます。



しょうかいます  
こんな本 No.34

ねば〜っと

## なっとうのえほん

### 『ゆうれいなっとう』

大島 妙子／絵 アリス館

「う〜ら〜め〜し〜や〜」なっとうが、ものすご〜く

こわい<sup>こえ</sup>声をだしたんです！

### 『なっとうかあちゃん』

マスリラ／絵 講談社

100粒<sup>つぶ</sup>のなっとうの子どもたち、おいしく立派<sup>りっぱ</sup>に

そだつんだよ〜！

# 『なっとうくん<sup>にし</sup>西へいく』

三輪 一雄／作・絵 PHP研究所

なっとう<sup>た</sup>食べたことある？くさくてよう<sup>た</sup>食べん？  
栄養<sup>えいよう</sup>あるから<sup>た</sup>食べてみて！

# 『ねばらねばなっとう』

たかお ゆうこ／え ひかりのくに  
なっとうの<sup>だいうんどうかい</sup>大運動会だ。かえ<sup>うた</sup>歌で<sup>たの</sup>楽しく<sup>うた</sup>歌えるよ。

# 『なっとうぼうや』

わたなべ あや／〔作〕 学研

♪ネバネバネバ…なんと、なっとう<sup>うた</sup>たちが歌っています！



しょうかいします  
こんな本 No.35

めいすいりでじけんをかいけつ

## たんていのえほん

### 『ヨナタンは名<sup>めい</sup>たんてい』

ギラド・ソフェル／絵 光村教育図書

ある日スリッパが<sup>ひ</sup>消<sup>き</sup>えた。忘<sup>わす</sup>れてないし、なくしてない。  
いったいどこに<sup>き</sup>消えちゃったんだ…？！

### 『おしりたんてい』

トロル／さく・え ポプラ社

「フーム、事件<sup>じけん</sup>のにおいがしますね」いつも冷静<sup>れいせい</sup>に、  
どんな事件<sup>じけん</sup>も解決<sup>かいけつ</sup>します。シリーズもあるよ。

# 『としょかんたんていゆめきちくん』

L. L. アファノ／え 評論社

<sup>としょかんだいす</sup>図書館大好き <sup>ゆめきちくん</sup> ゆめきちくん。「<sup>ほん</sup>本がなくなったの」と  
<sup>としょかんちよう</sup>図書館長さんが<sup>な</sup>泣いているよ。さあどうする？

# 『ふたりはめいたんてい？』

さこ ももみ／さく アリス館

ココロバナの<sup>たね</sup>種がなくなった！これは<sup>じけん</sup>事件だ！  
トトとライヨの<sup>たんてい</sup>探偵コンビの<sup>でばん</sup>出番だよ。

# 『王さまめいたんてい』

和歌山 静子／構成・絵 理論社

<sup>あたま</sup>頭のい〜い王さまが、<sup>おう</sup>事件を<sup>じけん</sup>解決します…？  
<sup>かいけつ</sup>



しょうかいします  
こんな本 No.36

がたんごとん

# でんしゃのえほん

## 『でんしゃにのったよ』

岡本 雄司／さく 福音館書店

でんしゃに<sup>の</sup>乗って、いとこの家<sup>いえ</sup>にいくんだ。

ほんとう えき た きぶん ほん  
本当に駅のホームに立った気分になる本。

## 『でんしゃにのろう』

田中 六大／絵 講談社

ネコひげえきを出<sup>しゅっぱつ</sup>発して、おじいちゃんをむかえに  
い 行こう。いろんなまちがい<sup>で</sup>が出てくるよ。

## 『おでんしゃ』

塚本 やすし／作 集英社

おでんがつながっている「おでんしゃ」といっしょに  
にっぽんぜんこく <sup>たび</sup>  
日本全国を旅しよう！

## 『でんしゃはっしゃしまーす』

まつおか たつひで／作 偕成社

ゴトンゴトン、あかりちゃんでんしゃです。

の  
お乗りのかたは、お急ぎ<sup>いそ</sup>くださーい。

## 『がたごとがたごと』

西村 繁男／絵 童心社

がたごと、がたごと…山<sup>やま</sup>を越<sup>こ</sup>えて、電車<sup>でんしゃ</sup>が行<sup>い</sup>くのは、  
どんな<sup>えき</sup>駅？



しょうかいします  
こんな本 No.37

ぼくのわたしの、いろんな…

# おにいちゃんの えほん

## 『ぼくの<sup>にい</sup>兄ちゃん』

よしなが こうたく／作・絵 PHP研究所

ぼくの<sup>にい</sup>兄ちゃんは<sup>ちょう</sup>超ワガママ。おばけさん、こんな  
<sup>にい</sup>兄ちゃんなんか、つれっていってください！

## 『ぼくもおにいちゃんになりたいな』

イロン・ヴィークランド／絵 徳間書店

きょうだいのいる<sup>とも</sup>友だちがうらやましいペーテル。  
いよいよ、お兄ちゃんになる<sup>ひ</sup>日がきましたが…。

## 『おにいちゃんといもうと』

はた こうしろう／絵 あすなろ書房

<sup>にい</sup>お兄ちゃんは、ちいさい <sup>いもうと</sup>妹 をからかってばかり。  
なんでそんなことするのかな。

## 『おにいちゃんがいるからね』

エヴァ・エリクソン／絵 徳間書店

<sup>じ</sup>3時になったのにパパが<sup>むか</sup>お迎えに<sup>こ</sup>来ない！  
<sup>にい</sup>お兄ちゃん、がんばります。

## 『ぼくだけのおにいちゃん』

福田 岩緒／作 文研出版

いばりんぼうのお兄ちゃん。<sup>にい</sup>ぼくのこと「よわむし」って  
いう。<sup>だいす</sup>でも大好きなんだ。



しょうかいします  
こんな本 No.38

ついちゃいけない？

## うそのえほん

### 『うそ』

ミロコマチコ／絵 金の星社

うそはついちゃいけません。それは本当<sup>ほんとう</sup>？

うそをついていない人<sup>ひと</sup>なんている？

### 『あたし、うそついちゃった』

ローラ・ランキン／さく 評論社

校庭<sup>こうてい</sup>でひろったかわいいカメラ。わたしのもの、って  
うそついちゃったの…。

## 『オオカミがきた』

ささめや ゆき／絵 岩崎書店

<sup>むらびと</sup>村人をだまして<sup>おもしろ</sup>面白がっていたら、<sup>ほんとう</sup>本当にオオカミが  
<sup>き</sup>来たから<sup>たいへん</sup>大変！イソップのおはなし。

## 『うそつきとどろぼうとせいぎのみかた』

竹内 通雅／え WAVE出版

<sup>いっしょうけんめい</sup>ボクは一生懸命うそをついた。<sup>とも</sup>友だちを<sup>まも</sup>守るために。  
<sup>ほんとう</sup>本当の<sup>やさ</sup>優しさを<sup>かんが</sup>考<sup>ほん</sup>える本。

## 『うそだあ！』

山村 浩二／絵 文溪堂

<sup>きみ</sup>君の<sup>はなし</sup>話は、<sup>おもしろ</sup>面白いんだけど、とっぴょうしもないん  
だよね！



しょうかいします  
こんな本 No.39

しろくろもようがかわいい

## パンダのえほん

### 『パンちゃんのおさんぽ』

どい かや／作・絵 BL出版

でんぐりがえしが得意<sup>とくい</sup>なパンちゃん。でんぐる、でんぐる  
すす 進んでいくと…。

### 『いしゃがよい』

さくら せかい／さく 福音館書店

やま 山のふもとで泣<sup>な</sup>いていたパンダの子。エンさんは  
ファンファンと名づけ、一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>に育て<sup>そだ</sup>てたよ。

## 『パンダ<sup>せんとう</sup>銭湯』

tupera tupera／さく 絵本館

パンダのためのお風呂<sup>ふろ</sup>屋<sup>や</sup>さん。ここで、パンダの  
ひみつが<sup>あき</sup>明らかに…！？

## 『パンダくんのおにぎり』

いしかわ こうじ／作・絵 PHP研究所

山<sup>やま</sup>のてっぺんでおにぎりを<sup>た</sup>食べようとしたパンダくん。  
おにぎりをころがしちゃった！

## 『いちにちパンダ』

くさか みなこ／え 小学館

人気<sup>にんきもの</sup>者のパンダが風邪<sup>かぜ</sup>をひいて、大ピンチ<sup>だい</sup>の動物園<sup>どうぶつえん</sup>！  
パンダの代わり<sup>か</sup>になったのは…



しょうかいします  
こんな本 No.40

ごちそうたくさん！

# レストランの えほん

## 『じゃがいもレストランへいらっしゃい』

山中 桃子／画 DINO BOX

おばあさんの<sup>つく</sup>作る、<sup>ひ が</sup>日替わりじゃがいも<sup>りょうり た</sup>料理を食べると、  
<sup>げんき</sup>元気になって、<sup>こころ かる</sup>心まで軽くなります。

## 『レストランかもめ』

南本 樹／作 教育画劇

<sup>きょう</sup>今日は、<sup>うみべ</sup>海辺の<sup>ちい</sup>小さなレストランの<sup>かいてんび</sup>開店日。

<sup>さいしょ</sup>最初のお客さんは<sup>きゃく</sup>カモメでした。

## 『しあわせなワニくんかんちがいレストラン』

はた こうしろう／絵 ポプラ社

デートをことわられて、しょんぼりのワニくん。<sup>まち</sup>町で  
<sup>で あ</sup>出会ったおばあさんと<sup>しょくじ</sup>食事をしにいくことに…

## 『峠の狸レストラン』

黒田 征太郎／絵 アートン

<sup>やま なか</sup>山の中のイタリア料理<sup>りょうり</sup>レストラン、よう<sup>み</sup>見たら「イ リア」。  
「タ」が<sup>ぬ</sup>抜けとるで！

## 『かまくらレストラン』

真珠 まりこ／さく・え 教育画劇

<sup>ゆき ふ あいだ ひら</sup>雪の降る間だけ開いているレストラン。おばあさんの  
<sup>つく</sup>作るおしるこで、<sup>こころ からだ</sup>心も体もぽっかぽか。



しょうかいます  
こんな本 No.41

ピカッとあかるい

# でんきのえほん

## 『でんきのビリビリ』

こしだ ミカ／さく・え そうえん社

「ビリビリくるからさわったらあかん！」ってお父<sup>とう</sup>さんは  
いうけど、電<sup>でん</sup>気<sup>き</sup>はどこから来<sup>く</sup>るのかな？

## 『わたしのひかり』

モリー・バング／作 評論社

まち  
町のあかりも、もともとは太陽<sup>たいよう</sup>の光<sup>ひかり</sup>なのです。

エネ<sup>かん</sup>ルギーを考<sup>かんが</sup>える本<sup>ぽん</sup>。

かぜ  
『風をつかまえたウィリアム』

エリザバス・ズーノン／絵 さ・え・ら書房

でんき むら く すく  
電気のない村の暮らしを救うために、ウィリアムは  
べんきょう ふうしゃ はつでんき つく  
勉強して、風車の発電機を作りました。

『あかりをけして』

アーサー・ガイサート／作 BL出版

じ  
8時になったら、あかりを消さなきゃいけないの…  
くら こわ  
暗くて怖いのに。

『おほしさま、きえちゃった』

ハンナ・カミング／さく コスモピア

よる まち でんき とつぜん き ほし  
夜の町の電気が突然切れたとき、みんなは、お星さまが  
いなくなっていたことに気づいたんだ。



しょうかいします  
こんな本 No.42

ゆっくり、のんびり...

# かたつむりの えほん

## 『どこにいるの？かたつむり』

トミー・ウンゲラー／作 長崎出版

かたつむりは、どんな<sup>かたち</sup>形？かたつむりに<sup>に</sup>似た<sup>かたち</sup>形は  
たくさんあるよ。

## 『かたつむりハウス』

ジリアン・タイラー／え 評論社

まめ<sup>ちい</sup>豆みたいに小さくなった三人<sup>さんにん</sup>きょうだいが、  
かたつむりハウスをみつけたんだって。

## 『すたすたかたつむり』

あきやま ただし／作・絵 岩崎書店

かたつむりってゆっくり<sup>ある</sup>歩くんじゃないの！？

ぼんやりしていたら、かたつむりに<sup>お</sup>追<sup>こ</sup>い越されるよ！

## 『ツムーリのおうち』

とりごえ まり／著 佼成出版社

エールくんの<sup>あたら</sup>新しいおうちがうらやましいツムーリ。

おそろいのおうちを<sup>つく</sup>作ってもらったけど…

## 『せかいいちおおきなうち』

レオ・レオニ／作 好学社

せかいいちおお

世界一大きなうちがほしいちびかたつむり。

からだ うご

おお

ほうほう

はっけん

体を動かして、大きくなる方法を発見しました。



しょうかいします  
こんな本 No.43

ほんとうにいた  
か がくしゃ  
**科学者のえほん**

とり み しょうねん  
**『鳥に魅せられた少年』**

メリッサ・スウィート／さし絵 小峰書店

ことり ふゆ い わた どり  
小鳥は冬になるとどこへ行くのだろう？ 渡り鳥を  
けんきゅう ちょうるいけんきゅうか ものがたり  
研究した、鳥類研究家オーデュボンの物語。

**『グレゴール・メンデル』**

ジヨス・A. スミス／絵 BL出版

まず く なか いっしょうけんめいべんきょう まめ じっけん  
貧しい暮らしの中で、一生懸命勉強をして、豆の実験  
いでん ほうそく はっけん  
で遺伝の法則を発見しました。

せいめい き  
『生命の樹』

ピーター・シス／文・絵 徳間書店

がっこうぎら しょうねん ちょうさせん  
学校嫌いの少年だったチャールズは、調査船で  
だいこうかい しんかろん しょうがい  
大航海へ！「進化論」のダーウィンの生涯。

ほし ししや  
『星の使者』

ピーター・シス／文・絵 徳間書店

ちきゅう うちゅう ちゅうしん かんが じだい  
地球が宇宙の中心と考えられていた時代。ガリレオ・  
ガリレイはしんねん つらぬ ちどうせつ とな  
信念を貫いて「地動説」を唱えた。

かせき しょうじょ  
『化石をみつけた少女』

キャサリン・ブライトン／さく 評論社

かせき ほ だ せいぶつ ねっしん しら  
化石として掘り出した生物のことを熱心に調べ、やがて  
かせきがくしゃ はなし  
化石学者になったメアリー・アニングのお話。



しょうかいします  
こんな本 No.44

しまもようのやさい  
**スイカのえほん**

『すいかのたび』

高畠 純／作 絵本館

ゆらゆらと海<sup>うみ</sup>を旅<sup>たび</sup>するスイカ。つぎつぎと何<sup>なに</sup>かに  
であいながら、旅<sup>たび</sup>はつづきます。

『すいかのたね』

さとう わきこ／さく・え 福音館書店

おいしいすいかなるように、ばばあちゃんは、  
ていねい<sup>たね</sup>に種<sup>う</sup>を植えました。

## 『だめだめすいか』

白土 あつこ／作・絵 ひさかたチャイルド

すいか<sup>わ</sup>割りしようって、たぬきがさそってくるんだ。  
だめだめ、これはじいちゃんのすいかなんだ！

## 『おおきなスイカ』

庄野 ナホコ／作 講談社

ネコのルッキオとフリフリは、マグロが<sup>た</sup>食べたいのに、  
<sup>み</sup>見つけたのは<sup>おお</sup>大きなスイカでした。

## 『すいかのめいさんち』

平田 景／絵 鈴木出版

ぼくが<sup>す</sup>住んでいる<sup>まち</sup>町では、すいかがたくさんとれる  
んだ。みんなで<sup>た</sup>食べたいな。



しょうかいします  
こんな本 No.45

せかいがかわる？

## さかさまのえほん

### 『さかさまつり』

つきおか ゆみこ／著 佼成出版社

よってらっしゃい、みてらっしゃい。今日は<sup>きょう</sup>何もかも<sup>なに</sup>  
さかさまの、さかさまつりだよ！

### 『さかさま』

安野 光雅／さく・え 福音館書店

<sup>うえ</sup>上か<sup>した</sup>下か、<sup>おもて</sup>表か<sup>うら</sup>裏か？どっちがどっちかわからない、  
<sup>ふ</sup>不思議な<sup>し</sup>錯視<sup>ぎ</sup>の<sup>さく</sup>絵本<sup>え</sup>。<sup>ほん</sup>

## 『さかさのこもりくん』

あきやま ただし／作・絵 教育画劇

こもりのこもりくんは、<sup>おも</sup>思ったのと<sup>はんたい</sup>反対のことを  
<sup>い</sup>言ってしまう。お友達<sup>ともだち</sup>、できるのかな？

## 『さかさまさかさ』

ピーター・ニューエル／作 亜紀書房

<sup>ほん</sup>本を<sup>うへ</sup>上にしたり、<sup>した</sup>下にしたり。<sup>ひと</sup>一つの<sup>え</sup>絵で<sup>ふた</sup>二つの<sup>ものがたり</sup>物語が  
<sup>たの</sup>楽しめます。

## 『さかさまライオン』

長 新太／絵 童心社

ライオンとその「かげ」の<sup>たち</sup>立場が<sup>ば</sup>逆転して、やること  
なすこと、さかさまになった！



しょうかいします  
こんな本 No.46

ハラハラ、ドキドキ！

# ぼうけんのえほん

## 『リンドバーク』

トーベン・クールマン／作 ブロンズ新社

なかま さが わた ひこうき  
仲間を探すために、アメリカへ渡るんだ…飛行機を  
はつめい ゆうかん と  
発明した勇敢なネズミは、ついに飛んだ！

## 『マゼランの航海』

ピエロ・ベントウーラ／絵 評論社

はじ ふね せかい いっしゅう はた いちだん くらう  
初めて船で世界一周を果たしたマゼランの一団の苦労が  
えが  
描かれています。

ぼうけん  
『シンドバッドの冒険』

ルドミラ・ゼーマン／文・絵 岩波書店

せかい せつわしゅう  
イスラム世界の説話集『アラビアン・ナイト』から、  
ふなの はなし  
船乗りシンドバッドのお話。

うし  
『牛をかぶったカメラマン』

レベッカ・ボンド／作 光村教育図書

とり しゃしん き みき  
鳥の写真をとるためだけに、木の幹にかくれたり、  
かわ なか はい きょうだい ものがたり  
川の中に入ったり。キーアトン兄弟の物語。

たいよう しんでん  
『太陽の神殿』

エルジェ／作 福音館書店

うみ わた ゆきやま い すす おうこく  
海を渡り、雪山を行き、ジャングルを進み、王国へたどり  
ついた！「タンタンの冒険」シリーズ、なんべいへん  
南米編。



しょうかいします  
こんな本 No.47

こころぼそいな…

## まいごのえほん

### 『ちょっとだけまいご』

クリス・ホートン／作 BL出版

ちびフクロウが巣<sup>す</sup>から落<sup>お</sup>ちて、まいごになっちゃった！  
…ぼくのママはどこ？

### 『まいごのマイロ』

大島 妙子／作 あかね書房

ひき こいぬ 7匹の子犬のきょうだいの初<sup>はじ</sup>めてのお散<sup>さん</sup>歩<sup>ぽ</sup>。小<sup>ちい</sup>さい  
マイロは、みんなからはぐれてしまって…

## 『ちびうさまいご！』

ハリー・ホース／作 光村教育図書

ぼくは、もう大きいんだから、おにいちゃんたちみたいに  
ジェットコースターに<sup>の</sup>乗るんだ！

## 『ハッピーとラッキーのどうぶつえん』

ももろ／さく・え 教育画劇

ハッピーとラッキーは、ちほちゃんの大<sup>だい</sup>事なぬいぐるみ。  
リュックに<sup>はい</sup>入<sup>い</sup>って<sup>どうぶつえん</sup>動物園にやってきました。

## 『ぼくはまいごじゃない』

シゲリ カツヒコ／絵 岩崎書店

ショッピングセンターでトイレに行<sup>い</sup>った<sup>あいだ</sup>間に、  
お兄<sup>にい</sup>ちゃんたちが迷<sup>まいご</sup>子になっちゃった！



しょうかいします  
こんな本 No.48

なーんにもしない…

## ぐうたら<sup>ぐうたら</sup>のえほん

### 『ものくさ<sup>たろう</sup>太郎』

林 潤一／絵 「京の絵本」刊行委員会

はたら 働かない、なんにもしない、ものくさ<sup>たろう</sup>太郎とよばれる

おとこ みやこ い 男が、都へ行くことになった。

### 『たなからぼたもち』

澤野 秋文／絵 廣済堂あかつき

かしや お菓子屋のぐうたら<sup>むすこ</sup>息子は、「たなからぼたもち」

ほんとう なんて本当にあるか、ため 試すことにしました。

## 『みつつのねがい』

ピレット・ラウド／再話・絵 福音館書店

なまけものの夫婦<sup>ふうふ</sup>は、けんかばかり。ある日<sup>ひ</sup>、一人<sup>ひとり</sup>の  
おじいさんが<sup>あらわ</sup>現れて…エストニアの昔話<sup>むかしばなし</sup>。

## 『ぐうたら道をはじめます』

大西 ひろみ／絵 BL出版

ソファでねていると、白い猫<sup>しろねこ</sup>があらわれて「ぐうたら道<sup>どう</sup>」を  
おし  
教えてくれるというんだけど…

## 『三ねんねたろう』

わたなべ さぶろう／え ポプラ社

百姓<sup>ひゃくしょう</sup>の若者<sup>わかもの</sup>ねたろうは、年<sup>ねん</sup>がら年<sup>ねん</sup>じゅう寝<sup>ね</sup>てばかり。  
そうしている間<sup>あいだ</sup>に、三年<sup>さんねん</sup>と三月<sup>みつき</sup>がたった。



しょうかいします  
こんな本 No.49

どこへいくのか

# たびのえほん

## たび えほん 『旅の絵本』

安野 光雅／著 福音館書店

ふね きし つ たびびと うま の むら まち めぐ  
舟で岸に着いた旅人は、馬に乗り、村や町を巡ります。

じ たび ふうけい えほん  
字がない、旅する風景の絵本。

## せかいりょこう 『ぐっすりメーメさんの世界旅行』

マウリ・クンナス／作 猫の言葉社

ねむ よる さんぽ  
眠ったまま、夜のお散歩をするメーメさん。

び せかいりょこう あ  
デパートのくじ引きで世界旅行が当たったんです！

## 『エマのたび』

クレール・フロツサール／文・絵 福音館書店

<sup>こ</sup> <sup>とり</sup>小鳥のエマはニューヨークからパリをめざして、<sup>しんせき</sup>親戚  
<sup>たび</sup>さがしの旅へ。<sup>え</sup>絵と<sup>しゃしん</sup>写真が<sup>がったい</sup>合体した<sup>えほん</sup>絵本。

## 『くんちゃんのだいいりょこう』

ドロシー・マリノ／文／絵 岩波書店

こぐまのくんちゃんは、<sup>みなみ</sup>南へ<sup>わた</sup>渡る<sup>とり</sup>鳥たちをみて、<sup>たび</sup>旅に  
でたくなりました。<sup>ちい</sup>小さな<sup>いっぽ</sup>一歩を<sup>はなし</sup>ふみだすお話を。

## 『キムのふしぎなかさのたび』

カーリン・スレーン／絵 徳間書店

こんな<sup>あめ</sup>雨の日には、<sup>ふね</sup>かさを<sup>たび</sup>舟にして<sup>で</sup>旅に出よう！



しょうかいします  
こんな本 No.50

うえから、したから…

## さかさことば

### 『さかさことばでうんどうかい』

西村 敏雄／作 福音館書店

どうぶつ 動物たちの運動会、うんどうかい 下から読んでも、した もりあがるよ！

### 『サカサかぞくのだんながなんだ』

宮西 達也／作 ほるぷ出版

かぞく なかよしの家族だって、けんかをするんです。

いえで 家出したママは帰ってくるの！？

## 『オカの力オ』

谷川 晃一／作 童心社

オカノ力オってどんな顔<sup>かお</sup>…？おしまいまでいったら  
じょうげ 上下さかさまにして、もう一度<sup>いちど</sup>読んでみよう！

## 『よるくまくるよ』

藤枝 リュウジ／絵 BL出版

みじか ぶん なが ぶん え み  
短<sup>みじか</sup>い文<sup>ぶん</sup>も、長<sup>なが</sup>い文<sup>ぶん</sup>も、絵<sup>え</sup>を見てな<sup>み</sup>っとく！

## 『さかさことばのえほん』

高部 晴市／絵 鈴木出版

さかさことばは、<sup>へいあんじだい</sup>平安時代からある<sup>ことば</sup>言葉あそびです。  
<sup>わふう えがら たの えほん</sup>和風の絵柄も楽しめる絵本。



しょうかいします  
こんな本 No.51

チリンチリーン、  
ちょうしいい！

## じてんしゃのえほん

### 『じてんしゃにのろう』

田中 六大／絵 講談社

じてんしゃ の 自転車で乗るとちょっと遠くまでいけます。この本で  
じてんしゃ の れきし 自転車の乗りかたや歴史もわかるよ。

### 『ローズ色の自転車』

ジャンヌ・アシュベ／作 光村教育図書

ローズは うれし の 色。 かなしい 顔を した 女 の 子 に  
ローズ色に ぬ った じてんしゃ を あげよう。

## 『じてんしゃにのるアヒルくん』

デイヴィッド・シャノン／さく 評論社

ある日<sup>ひ</sup>アヒルは<sup>おも</sup>思いつきました。

「じてんしゃにのってみようっと！」

## 『チリとチリリちかのおはなし』

どい かや／作 アリス館

地下<sup>ち か</sup>の貯蔵庫<sup>ちょぞうこ</sup>で物音<sup>ものおと</sup>が。チリとチリリは<sup>お</sup>追いかけます。

いつも<sup>じてんしゃ</sup>自転車<sup>の</sup>に乗<sup>い</sup>って行<sup>ふたり</sup>く二人のシリーズ。

## 『ロッタちゃんとしてんしゃ』

ヴィークランド／え 偕成社

末っ子<sup>すえ こ</sup>のロッタちゃんは、お兄<sup>にい</sup>ちゃん、お姉<sup>ねえ</sup>ちゃんと

おな<sup>おな</sup>じように<sup>じてんしゃ</sup>自転車<sup>の</sup>に乗<sup>の</sup>りたいのですが…



しょうかいします  
こんな本 No.52

こわいこわーい…？

## やまんばのえほん

### 『うまかたやまんば』

赤羽 末吉／画 福音館書店

やまんばに<sup>うま</sup>馬<sup>く</sup>を<sup>に</sup>食<sup>うまかた</sup>われて<sup>やま</sup>逃<sup>なか</sup>げた<sup>いえ</sup>馬方は、山<sup>まよ</sup>の中<sup>こ</sup>の家に  
迷<sup>こ</sup>い込<sup>こ</sup>んだ。

### 『やまんばあかちゃん』

大島 妙子／絵 理論社

<sup>あか</sup>赤<sup>いわ</sup>ちゃんが、オギヤーと岩<sup>う</sup>から生<sup>う</sup>まれたよ。

## 『やまんばのにしき』

せがわ やすお／え ポプラ社

もちついて持<sup>も</sup>っていないと、やまんばに  
食<sup>く</sup>い殺<sup>ころ</sup>される～！

## 『まゆとおに』

降矢 なな／絵 福音館書店

やまんばの娘<sup>むすめ</sup>まゆは、おなかがすいた鬼<sup>おに</sup>と出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>ったから  
たいへん！まゆは食<sup>た</sup>べられちゃうの？！

## 『さんまいのおふだ』

梶山 俊夫／画 福音館書店

山<sup>やま</sup>で迷子<sup>まいご</sup>になった小僧<sup>こぞう</sup>さん。親切<sup>しんせつ</sup>なおばあさんが  
家<sup>いえ</sup>に泊<sup>と</sup>めてくれたのだけど…。



しょうかいします  
こんな本 No.53

わあ～！びっくり！

# おおきい！のえほん

## 『きよだいなきよだいな』

降矢 なな／絵 福音館書店

の は ら きよだい にん こ  
野原には、巨大なピアノ。そこへ100人の子どもが  
や っ て き た ら ？ 言 葉 の リ ズ ム が 楽 し い 本 。

## 『このよでいちばん大きな男の子』

クオン ジェリョン／え 少年写真新聞社

キルサンはふつうのあかちゃんともちがう。  
みるみるうちに、ぐんぐん大きくなって…

## 『だいおういかのいかたろう』

ザ・キャビンカンパニー／作・絵 鈴木出版

<sup>みずうみ</sup>湖 <sup>こお</sup>が凍って閉じ込められてしまった <sup>と</sup>いかたろう！  
どうしたら、<sup>たす</sup>助けてあげられるかな？

## 『まいごのワンちゃんあずかってます』

アダム・ストーワー／作 小学館

<sup>ちゃいろ</sup>茶色くてもこもこしたものを<sup>み</sup>見つけた！  
リリーがずっとほしかったものです。

## 『おおきなかぶ』

佐藤 忠良／画 福音館書店

おじいさんが<sup>たいせつ</sup>大切に育てた<sup>そだ</sup>かぶは、とてつもなく  
<sup>おお</sup>大きくなりました。



しょうかいします  
こんな本 No.54

ちょっとひとやすみ…

## いすのえほん

### 『ぼくのイスなのに！』

ロス・コリンズ／作・絵 PHP研究所

シロクマがぼくのイスにすわってるなんて、  
がまんできないよ！

### 『くまさんのいす』

西巻 茅子／絵 講談社

くまさんは <sup>あた</sup>新しい <sup>い</sup>椅子 <sup>つく</sup>を作ろうと、<sup>もり</sup>森 <sup>き</sup>の木 <sup>き</sup>を切りたおそう  
としますが…

## 『かあさんのいす』

ベラ B. ウィリアムズ／作・絵 あかね書房

びんに貯<sup>た</sup>めているお金<sup>かね</sup>がいっぱいになったら、世界<sup>せかい</sup>一<sup>いち</sup>  
すてきな椅子<sup>いす</sup>を<sup>か</sup>買いにいくのよ。

## 『ワニくんのイス』

みやざき ひろかず／さく・え BL出版

できた！気持<sup>き</sup>ちの良<sup>よ</sup>いぼくの椅子<sup>いす</sup>。でも、誰<sup>だれ</sup>かが  
すわりにきて、ぼくは全<sup>ぜん</sup>然<sup>ぜん</sup>すわれないよ～

## 『どうぞのいす』

柿本 幸造／絵 ひさかたチャイルド

誰<sup>だれ</sup>でもすわっていい親<sup>しん</sup>切<sup>せつ</sup>な椅子<sup>いす</sup>。ロバさんは、どんぐりを  
入<sup>い</sup>れたカゴを<sup>お</sup>置き、お昼<sup>ひる</sup>寝<sup>ね</sup>をしました。



しょうかいします  
こんな本 No.55

むかしむかしにいきていた

# きょうりゅうの えほん

## 『きょうりゅうどーん』

広瀬 克也／作 絵本館

<sup>まち</sup>町でも、<sup>うみ</sup>海でも、ジャングルでも…<sup>きょうりゅう</sup>恐 竜<sup>げんき</sup>たちが元気に  
<sup>うご</sup>動きまわるよ！

## 『ジョンがきょうりゅうになったひ』

ショウジ サダム／え ひさかたチャイルド

<sup>いぬ</sup>ぼくんちの犬、<sup>よわむし</sup>弱虫ジョンが、<sup>きょうりゅう</sup>恐 竜になっちゃった！

## 『きょうりゅうたち』

アーノルド・ローベル／絵 文化出版局

いま おくねんいじょうまえ ちきゅう うえ ほん  
今から2億年以上前、地球の上にはこの本にのっている  
ようなきょうりゅう 恐竜たちが住んでいました。

## 『きょうりゅうオーディション』

たしろ ちさと／作 小学館

きょうりゅう げきだん  
きょうりゅう劇団のオーディションにようこそ！  
あなたのとくい 得意なことはなんですか？

## 『きょうりゅうたちのいただきます』

マーク・ティーン／絵 小峰書店

さあ、ごはんのじかん 時間です。きょうりゅう  
恐竜たちはどんなふう  
しているのかな？



しょうかいします  
こんな本 No. 56

たべてめでたい  
**おせちりょうりの  
えほん**

じゅうにし      せちりょうり  
**『十二支のお節料理』**

川端 誠／作 BL出版

ね   うし   とら   ことし   じゅうにし   どうぶつ  
子、丑、寅…今年も十二支の動物たちが  
ちから   あ   せちりょうり   つく  
力を合わせてお節料理を作ります。

**『おばあちゃんのおせち』**

野村 たかあき／作・絵 佼成出版社

こうれい      ことし  
恒例のおばあちゃんのおせち。今年は、きりちゃんも  
てつだ  
お手伝いしたんです！

## 『おせちいっかのおしょうがつ』

わたなべ あや／作 佼成出版社

じゅうばこ 重箱につめられたおせち一家。大晦日の夜、こっそり  
はつもうで む ぬけだして、初詣に向かいます。

## 『おばあちゃんのくりきんとん』

山中 桃子／さく 長崎出版

おばあちゃんの<sup>くり</sup>栗きんとんはキラキラ<sup>きんいろ</sup>金色。ぼくも  
<sup>すこ</sup>もう少し<sup>おお</sup>大きくなったら<sup>つく</sup>作り方<sup>かた</sup>を<sup>なら</sup>習うんだ。

## 『おせちのおしょうがつ』

吉田 朋子／絵 世界文化社

おせち料理がみんなでかがみもちの家に遊びにいきます。  
おめでたい料理がせいぞろい！



しょうかいします  
こんな本 No.57

みずがかたまと…  
**こおりのえほん**

**『かわうそ3きょうだいのふゆのあさ』**

あべ 弘士／作 小峰書店

かわうその3きょうだいが、こおった <sup>みずうみ</sup>湖 <sup>なか</sup>の中で  
で <sup>あ</sup>出会ったものは…？

**『こおりのなみだ』**

ジャッキー・モリス／さく 岩崎書店

クマとして <sup>う</sup>生まれ <sup>にんげん</sup>人間として <sup>そだ</sup>育てられた <sup>おとこ</sup>男 <sup>こ</sup>の子 <sup>ものがたり</sup>の物語。  
<sup>にんげん</sup>クマも <sup>あいじょう</sup>人間も <sup>おな</sup>愛情は同じです。

## 『しもばしら』

野坂 勇作／さく 福音館書店

おばあちゃん<sup>いっしょ</sup>と一緒に大根<sup>だいこん</sup>畑<sup>ばたけ</sup>にいくと、足もとから<sup>あし</sup>  
不思議な音<sup>ふしぎ おと</sup>がきこえてきました。

## 『じっちょりんのふゆのみち』

かとう あじゅ／作 文溪堂

冬の朝<sup>ふゆ あさ</sup>、じっちょりん家族<sup>かぞく ある</sup>が歩いていくと、土<sup>つち</sup>の中<sup>なか</sup>から  
氷<sup>こおり</sup>の柱<sup>はしら</sup>がによきによきのびていました。

## 『氷の海とアザラシのランプ』

ベス・クロムス／絵 BL出版

北極探検隊<sup>ほっきょくたんけんたい</sup>をのせた船<sup>ふね</sup>が氷<sup>こおり</sup>の海<sup>うみ</sup>に閉じ込められた！  
本当<sup>ほんとう</sup>にあった氷<sup>こおり</sup>の世界<sup>せかい</sup>の話<sup>はなし</sup>。



しょうかいします  
こんな本 No.58

あまくてとろ〜り  
チョコレート  
の  
えほん

『チョコたろう』

青山 友美／え 童心社

チョコからうまれたチョコたろう。

あま〜いチョコでみんなを<sup>えがお</sup>笑顔にします。

『おさるのジョージチョコレートこうじょうへいく』

M.レイ／原作 岩波書店

チョコレート<sup>ず</sup>好きのジョージは、チョコレート<sup>こうじょう</sup>工場<sup>なか</sup>の中に  
<sup>はい</sup>入ってみたくてたまりません！

## 『チョコレートがおいしいわけ』

はんだ のどか／作 アリス館

とろーりあまくて、<sup>おい</sup>美味しいチョコレートは、  
どうやってできるのでしょうか。

## 『こねこのチョコレート』

大社 玲子／絵 こぐま社

<sup>おとうと</sup>弟 のために、こねこの<sup>かたち</sup>形 をしたチョコを<sup>か</sup>買った  
ジェニー。チョコのことばかりが<sup>き</sup>気になって…

## 『チョコのたね』

Goma／作・絵 フレーベル館

きつねとねずみのパン<sup>や</sup>屋さん、いろんなチョコレートの  
パンを<sup>かんが</sup>考<sup>だ</sup>え出します。レシピつき。



しょうかいします  
こんな本 No.59

かぞえてみよう！

# かずのえほん

## 『1はゴリラ』

アンソニー・ブラウン／作 岩波書店

さる なかま ふ  
猿の仲間がだんだん増えていく。そして、最後はヒト。

ヒトのぼくも仲間なんだね。

## 『1つぶのおこめ』

デミ／作 光村教育図書

かしこいらー二は、王さまのごほうびに、はじめは

こめ ひとつぶ  
お米を一粒だけいただきました。

## 『ウラパン・オコサ』

谷川 晃一／作 童心社

1は「ウラパン」2は「オコサ」。ウラパンとオコサだけで  
いろんな物<sup>もの</sup>を数<sup>かぞ</sup>えてみよう！

## 『いちのかたつむり、じゅうはかに』

R. セシル／え 評論社

1はかたつむり、2は人間<sup>にんげん</sup>。生き物<sup>いもの</sup>の足<sup>あし</sup>で数<sup>かぞ</sup>える、数<sup>かず</sup>の  
えほん  
絵本。

## 『ライフタイム』

クリストファー・サイラス／え ポプラ社

この本<sup>ほん</sup>に出てくるのは、生き物<sup>いもの</sup>の一生<sup>いっしょう</sup>に関係<sup>かんけい</sup>ある、  
さまざまな数<sup>すうじ</sup>字<sup>じ</sup>です。



しょうかいします  
こんな本 No.60

あたらしいせいかつ  
**ひっこしのえほん**

**『おばあさんのひっこし』**

エドナ・ベッカー／作 福音館書店

おばあさんは、<sup>なが</sup>長い<sup>あいだ</sup>間<sup>す</sup>住んで<sup>ふる</sup>すっかり古ぼけて  
しまった<sup>うち</sup>お家<sup>ひ</sup>から、<sup>こ</sup>引っ越<sup>こ</sup>すことにしました。

**『エルヴィンのひっこし』**

ダニエラ・クーロット＝フリッシュ／さく 評論社

もぐらのエルヴィン、ひとりになりたいから

<sup>ひ</sup>引っ越<sup>こ</sup>しするんだって。

## 『くすのきだんちへおひっこし』

末崎 茂樹／絵 ひかりのくに

かえるさんが引<sup>ひ</sup>越<sup>こ</sup>してきました。団<sup>だん</sup>地<sup>ち</sup>のみんなは、  
とても親<sup>しん</sup>切<sup>せつ</sup>。くすのきだんちシリーズ。

## 『ちいさなおひっこし』

こみね ゆら／作 偕成社

4人<sup>にん</sup>と1匹<sup>びき</sup>が住<sup>ち</sup>む、小<sup>ちい</sup>さいけれどすてきな家<sup>いえ</sup>。  
なんだか、だんだんきゅうくつ<sup>かん</sup>に感じて…

## 『おうさまのおひっこし』

牡丹 靖佳／作 福音館書店

もっと大きな城<sup>おおしろ</sup>に引<sup>ひ</sup>越<sup>こ</sup>すことにしよう！荷<sup>にぐるま</sup>車<sup>ま</sup>の  
行<sup>ぎょう</sup>列<sup>れつ</sup>がパレードみたいにつづ<sup>つづ</sup>いていきます。



しょうかいします  
こんな本 No.61

さくら、さくら…

## おはなみのえほん

### 『こぶたのブルトン はるはおはなみ』

市居 みか／絵 アリス館

たかさきやままでお花見に。<sup>はなみ</sup>途中の道には<sup>とちゅう</sup>楽しい<sup>みち</sup>お店が<sup>たの</sup>  
<sup>みせ</sup>  
いっぱい！お客さん<sup>きやく</sup>もいっぱい！

### 『またあえるよね』

こみね ゆら／絵 教育画劇

<sup>さくら</sup>桜が<sup>まんかい</sup>満開の<sup>こうえん</sup>公園で、かなとさつきちゃんは、<sup>なかよ</sup>仲良く  
おにぎり<sup>わ</sup>を分けたり、<sup>あそ</sup>遊んだりしました。

## 『ほわほわさくら』

きうち たつろう／え くもん出版

ほわほわ、くるくる、さらんさらん…<sup>さくら</sup>桜のはなびらは  
どこまで飛<sup>と</sup>んでいくのかな。

## 『おはなみ』

まるやま あやこ／え あかね書房

たくさんの人<sup>ひと</sup>がきれいなお花<sup>はな</sup>を見<sup>み</sup>ています。

サクラの花<sup>はな</sup>だって私<sup>わたし</sup>たちのことを見<sup>み</sup>ているよ。

## 『春<sup>はる</sup>の主役<sup>しゅやく</sup>桜<sup>さくら</sup>』

早川 司寿乃／絵 理論社

桜<sup>さくら</sup>のことを色々<sup>いろいろ</sup>知ると、お花見<sup>はなみ</sup>に出かけたくくなります。

やさしい色合い<sup>いろあ</sup>の美<sup>うつく</sup>しい絵本<sup>えほん</sup>。



しょうかいします  
こんな本 No.62

ぼくのわたしの  
**がっこうのえほん**

『がっこうだってどきどきしてる』

クリスチャン・ロビンソン／絵 WAVE出版

あた<sup>ら</sup> たても<sup>の</sup> がっ<sup>こ</sup>う しん<sup>が</sup>つき  
新しい建物は学校になりました。新学期になって、  
た<sup>く</sup>さんのこ<sup>こ</sup>どもたちがやってきました。

『ふつ<sup>に</sup>にがっ<sup>こ</sup>う学校にいくふつ<sup>の</sup>ひ』

きたむら さとし／絵 小峰書店

き<sup>ょう</sup> ふ<sup>つ</sup>にがっ<sup>こ</sup>う いち<sup>に</sup>ち おも<sup>も</sup>  
今日もふつ<sup>の</sup>の学校でふつ<sup>の</sup>の一日をおく<sup>る</sup>と思<sup>っ</sup>たら、  
ふつ<sup>じ</sup>ゃないせん<sup>せい</sup>がや<sup>っ</sup>てきたよ。

## 『1ねん1くみの1にち』

川島 敏生／写真・文 アリス館

ここは<sup>ねん</sup>1年<sup>くみ</sup>1組<sup>きょうしつ</sup>の教室。一日<sup>いちにち</sup>の様子<sup>ようす</sup>を追いかけた  
<sup>しゃしんえほん</sup>  
写真絵本。

## 『<sup>きょうしつ</sup>教室はまちがうところだ』

長谷川 知子／絵 子どもの未来社

まちがったって、<sup>わら</sup>笑ったり、ばかにしたり、おこったり、  
<sup>きょうしつ</sup>ぼくらの教室にはそんな<sup>もの</sup>者はおりゃせんよ！

## 『がっこういこうぜ！』

山本 孝／絵 岩崎書店

けんご、<sup>げんき</sup>元気そうじゃないか、<sup>がっこう</sup>学校いこうぜ。  
<sup>きょう</sup>今日も<sup>やす</sup>休むのかよ？



しょうかいします  
こんな本 No.63

あしもとにひろがるせかい

## ちかのえほん

### 『みみずん』

かべや ふよう／作・絵 フレーベル館

つち なか むら なかま たす あ  
土の中にはみみず村があって、仲間で助け合いながら  
く  
暮らしています。

### 『地球をほる』

川端 誠／作 BL出版

つよしとけんたは旅行にいくことにした。地面に穴を  
ほ ちきゅう うらがわ  
掘って地球の裏側にいってみるぞ。

## 『どうするどうするあなのなか』

高畠 純／絵 福音館書店

3匹<sup>びき</sup>のねずみと2匹<sup>ひき</sup>のやまねこ<sup>あな</sup>が穴<sup>お</sup>に落ちたよ！  
深く<sup>ふか</sup>で<sup>で</sup>出られないよ！さあ、どうする？

## 『トンネルをほる』

エドワード・ミラー／絵 ほるぷ出版

モグラはトンネルを<sup>ほ</sup>掘ります。プレーリードッグもアリも…  
そして、人間<sup>にんげん</sup>も！

## 『ブルオはいぬごやのした』

山西 ゲンイチ／作・絵 岩崎書店

ブルオの犬小屋<sup>いぬごや</sup>の中にボール<sup>はい</sup>が入っちゃった！  
ブルオはいつも、怖い<sup>こわ</sup>顔<sup>かお</sup>で吠<sup>ほ</sup>えるんだ。



しょうかいします  
こんな本

No.64

コロコロ、ころがる

# だんごむしの えほん

## 『ぼく、だんごむし』

たかはし きよし／え 福音館書店

まんまるいぼくは、ボールじゃないよ。ぼくの不思議な  
くらしを見てね。

## 『だんごむしうみへいく』

松岡 達英／作 小学館

うみ 海にはだんごむしの仲間がたくさん住んでいるんだよ！

## 『ダンゴムシのコロリンコくん』

カズコ・G. ストーン／文・絵 岩波書店

しめっぽいところが<sup>だいす</sup>大好きな、コロコロファミリーの  
<sup>たの</sup>楽しい毎日と<sup>まいにち</sup>一年の<sup>いちねん</sup>お話。<sup>はなし</sup>

## 『だんごむしのダディダンダン』

沢野 ひとし／絵 福音館書店

<sup>こ</sup>子どもがたくさんダディダンダン。ころがしながら  
<sup>こも</sup>子守りです。

## 『ころちゃんのだんごむし』

高家 博成, 仲川 道子／さく 童心社

ぼくはころちゃん。お兄<sup>にい</sup>ちゃん、お姉<sup>ねえ</sup>ちゃんたちと  
みんなで<sup>さんぽ</sup>散歩<sup>で</sup>に出かけるよ。



しょうかいします  
こんな本 No.65

まんまる、みどりの  
**キャベツのえほん**

『キャベツがたべたいのです』

シゲタ サヤカ／作・絵 教育画劇

チョウチョになっても<sup>わす</sup>忘れられないあの<sup>あじ</sup>味！そう、  
ぼくらはキャベツが<sup>た</sup>食べたいだけなのです！

『キャベツくん』

長 新太／文・絵 文研出版

キャベツくんがブタヤマさんにつかまりました。

「ぼくをたべると、キャベツになるよ！」

## 『ゆうこのキャベツぼうし』

やまわき ゆりこ／さく・え 福音館書店

<sup>はたけ</sup>畑 <sup>おお</sup>のおばさんが大きなキャベツをくれました。一枚 <sup>いちまい</sup>はがして、ぼうしのかわりにかぶりました。

## 『9ひきのうさぎ』

せな けいこ／作・絵 ポプラ社

<sup>ひき</sup>9匹のうさぎがやってきた！たろうちゃんの <sup>はたけ</sup>畑に  
やってきた！

## 『キャベツ<sup>ひめ</sup>姫』

エロール・ル・カイン／作 ほるぷ出版

<sup>ことば</sup>言葉の呪い <sup>のろ</sup>で野菜 <sup>やさい</sup>になってしまった者たち。王子 <sup>もの</sup>が <sup>おうじ</sup>  
<sup>ひめ</sup>姫 <sup>さが</sup>を探し <sup>だ</sup>出せば、呪い <sup>のろ</sup>はとかれるであろう。



しょうかいします  
こんな本 No.66

りゆうはいろいろ  
**いえでのえほん**

**『きいのいえで』**

種村 有希子／作 講談社

ふたごのきょうだいのきい。おかあさんにしかられて  
泣<sup>な</sup>いてる。家出<sup>いえで</sup>するんだって、どうしよう。

**『フランスのいえで』**

リリアン・ホーバン／え 好学社

このごろ、お家<sup>うち</sup>ではいろんなことが思<sup>おも</sup>うように  
い<sup>いえで</sup>かなくなったから、家出するの。

## 『いえでだづびづび』

柳生 まち子／作 福音館書店

とうとう、お母さん<sup>かあ</sup>におこられた！こぶたの3兄弟<sup>きょうだい</sup>は  
いえで  
家出することにしました。

## 『いえでをしたくなつたので』

ドリス・バーン／絵 ほるぷ出版

いえで  
家出をしたくなつたので、きょうだい<sup>きょうだい</sup>みんなで荷物<sup>にもつ</sup>を  
まとめてひっこした。

## 『あたしいえでしたことあるよ』

かべや ふよう／絵 あすなろ書房

いえで  
家出なんてぜーんぜんこわくないよ。だってあたし、  
いえで  
家出したことあるんだもん。



しょうかいします  
こんな本 No.67

あめでもはれでも  
**かさのえほん**

『ちいさなきいろいかさ』

にしまき かやこ／イラスト 金の星社

なっちゃんの<sup>あた</sup>新しい<sup>かさ</sup>傘。うさぎさん、りすくん、  
<sup>はい</sup>お入りなさい。みんな<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>はい</sup>入れないかな。

<sup>じょう</sup>『かさの女王さま』

ユ テウン／絵 セーラー出版

<sup>かさ</sup>傘の<sup>え</sup>絵つけをゆるされたヌットは、<sup>ほんとう</sup>本当にかきたい<sup>え</sup>絵を  
<sup>こころ</sup>心をこめてかきました。タイのお<sup>はなし</sup>話。

## 『かさ』

太田 大八／作・絵 文研出版

<sup>あめ</sup>雨ふりのおむかえにでかける <sup>おんな</sup>女 <sup>こ</sup>の子の <sup>きも</sup>気持ちが <sup>つた</sup>伝わる  
<sup>え</sup>絵だけの <sup>えほん</sup>絵本。

## 『ヨンイのビニールがさ』

キム ジェホン／絵 岩崎書店

<sup>かんこく</sup>韓国 <sup>しょうがくせい</sup>の小学生 <sup>ヨンイ</sup>は、<sup>みち</sup>道 <sup>すわ</sup>ばたに <sup>すわ</sup>座っている <sup>もの</sup>物ごいの  
<sup>み</sup>おじさんを見かけました。

## 『かさどろぼう』

シビル・ウェッタシンハ／作・絵 徳間書店

<sup>まち</sup>街で <sup>はじ</sup>初めて <sup>かさ</sup>傘を <sup>み</sup>見たおじさん。「なんてきれいで、  
<sup>べんり</sup>便利なものだろう」と <sup>か</sup>買って <sup>かえ</sup>帰りましたが…



しょうかいします  
こんな本 No.68

まいにちあたらしい

## あさのえほん

### 『どんないちにち』

たしろ ちさと／絵 廣済堂あかつき

きょう  
今日はだれがいちばんに「おはよう。」っていうのかな？

まちじゅう  
街中に、にっこりがひろがります。

### 『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井 良二／著 偕成社

どこにも<sup>あさ</sup>朝はやってきます。<sup>まど</sup>窓を<sup>あ</sup>開けてみてみましょう。

きみのまちは<sup>は</sup>晴れているかな？

## 『よあけ』

ユリー・シュルヴィッツ／作・画 福音館書店

<sup>しず</sup>静かに<sup>あ</sup>明けていく、<sup>はや</sup>早い<sup>あさ</sup>朝の<sup>ふうけい</sup>風景です。

## 『なつのあさ』

谷内 こうた／文・画 至光社

<sup>あさ</sup>朝いちばんの、いつものあの<sup>おと</sup>音を<sup>き</sup>聞きに。

いそげ、いそげ、まにあうかな？

## 『14ひきのあさごはん』

いわむら かずお／作 童心社

<sup>あさ</sup>朝<sup>お</sup>起きたら、<sup>かお</sup>顔を<sup>あら</sup>洗って、きょうだい<sup>もり</sup>みんなで森に

<sup>あさ</sup>朝ごはんの<sup>ざいりょう</sup>材料をとりにいきます。



しょうかいします  
こんな本 No.69

つるつるっとおいしい

## うどんのえほん

### 『きつねうどんたぬきうどん』

古内 ヨシ／さく 大日本図書

うどんが<sup>だいす</sup>大好きなきつねくとたぬきくん。きつね、  
たぬき、どっちのうどんがいちばんおいしい？

### 『うどんのうーやん』

岡田 よしたか／さく ブロンズ新社

うーやん、<sup>でまえ</sup>出前や。たのむで一。うどんも<sup>じぶん</sup>自分で<sup>でまえ</sup>出前に  
いかなあかんのです。

## 『うどんはどこからきたの？』

せべ まさゆき／絵 金の星社

うどんは<sup>なに</sup>何からできているの？カレーうどんを  
うどんから<sup>つく</sup>作ってみよう！<sup>たの</sup>楽しい<sup>しょくいく</sup>食育の<sup>えほん</sup>絵本。

## 『うどんドンドコ』

山崎 克己／作 BL出版

<sup>よなか</sup>夜中にあらわれたうどんかいじん。<sup>ちゅうもん</sup>ご注文のうどんを  
とどけます。ぼくはカレーうどんだ！

## 『うどん<sup>たい</sup>対ラーメン』

田中 六大／作 講談社

うどんとラーメンどちらがおいしいのか！？

つるつる<sup>こうえん</sup>つる公園<sup>たいけつ</sup>で対決だ！



しょうかいします  
こんな本 No.70

あんなふうにとべたら

## とりのえほん

### 『とりになったはっぱのはなし』

しのお すみこ／絵 ポプラ社

かみさま はじ 神様が初めておつくりになった山に、はっぱがはえて  
きました。はっぱはぐんぐん<sup>そら</sup>空にのびて…

### 『とりのうた』

さこ ももみ／画 教育画劇

しんしん<sup>さむ</sup>寒い冬を過ぎ、迎えた春はよろこびであふれて  
います。詩と画が清々しい<sup>えほん</sup>絵本。

## 『すばこ』

イ スンウォン／絵 ほるぷ出版

すばこ ひと とり いえ すばこ つく  
巣箱は人が作った鳥の家です。巣箱を作って、  
あなたの庭にも鳥をよんでみませんか。

## 『さあ、とんでごらん！』

サイモン・ジェームズ／さく 岩崎書店

ふゆ ちか みなみ くに む  
冬が近づくと、あたたかい南の国へ向かうために、  
ジョージも飛ぶ練習をします。

## 『とり』

ブライアン・ワイルドスミス／さく・え らくだ出版

とり しゅうせい うつく えが  
いろんな鳥の習性が美しく描かれています。



しょうかいします  
こんな本 No.71

ヤッホーとこたえる

## やまのえほん

たかおさん き  
『高尾山の木にあいにく』

陣崎 草子／絵 理論社

たかおさんとうきょうみちかやまやまはいはじ  
高尾山は東京の身近にある山です。山に入ると、初めて  
みしよくぶつむしであ  
見るような植物や虫に出会えます。

やま  
『山びこくん』

たかはし ゆうじ／作 文芸社

「やっほー」といわれたら「やっほー」とこたえる。

やましごと  
それが山びこくんのお仕事です。

やま  
『山のいのち』

伊勢 英子／絵 ポプラ社

やま  
山はしたたるほどの緑<sup>みどり</sup>だった。パパとママと離<sup>はな</sup>れて、  
おじいちゃん<sup>す</sup>と過<sup>なつ</sup>ごした夏<sup>き</sup>の記憶<sup>おく</sup>。

やま  
『おじいちゃんの山』

稲田 善樹／絵 てらいんく

め み  
目の見えないおじいちゃんは、たったひとりで山<sup>やま</sup>の杉<sup>すぎ</sup>を  
まも  
守っています。ノンフィクション<sup>えほん</sup>絵本。

やま  
『おっちゃん山』

塚本 やすし／え 新日本出版社

やまのぼ むし  
山登りでデロデロ虫にかまれてしまったおっちゃん。  
からだ おお  
体がだんだん大きくなってきて…！



しょうかいします  
こんな本 No.72

おおきいぞ～！

## くじらのえほん

### 『くいしんぼうのクジラ』

谷口 智則／作 あかね書房

おいら、「いただきます」は大好きで、「ごちそうさま」は

だいきら <sup>た</sup> <sup>た</sup> <sup>た</sup>  
大嫌い。食べて食べて食べまくるぞ！

### 『がんばれちびくじら』

スーザン・フィールド／え 評論社

たいへん <sup>はま</sup> <sup>あ</sup>  
大変！くじらが浜辺に上がっちゃった！

みんなでくじら <sup>たす</sup>  
を助けよう！

## 『くじらの歌<sup>うた</sup>ごえ』

ゲイリー・ブライズ／絵 BL出版

昔<sup>むかし</sup>はね、海<sup>うみ</sup>にはいっぱいくじらがいたのよ…

おばあさんはリリーに<sup>はな</sup>話してくれました。

## 『クジラ<sup>たい</sup>対シャチ』

高田 三郎／絵 新日本出版社

ユニマック海<sup>かいきょう</sup>峡<sup>と</sup>を通る親子<sup>おやこ</sup>のクジラをおそうシャチ！

迫<sup>はくりよく</sup>力のあるノンフィクション。

## 『くじらのバース』

村上 康成／作 ひさかたチャイルド

小<sup>ちい</sup>さな小<sup>ちい</sup>さな南<sup>みなみ</sup>の島<sup>しま</sup>で暮<sup>く</sup>らすナリンは、今年<sup>ことし</sup>も

クジラのバースに<sup>であ</sup>出会いました。



しょうかいします  
こんな本 No.73

さぼってないけど

# ナマケモノの えほん

## 『ふたりのナマケモノ』

高畠 純／作・絵 講談社

けっしてなまけているのではありません。ゆっくりが  
<sup>す</sup>好きなのです。ナマケモノの<sup>いちにち</sup>ある一日。

## 『ゆっくりゆっくりなまけもののくん』

オームラ トモコ／作・絵 鈴木出版

たかーいたかーい木<sup>き</sup>の上<sup>うえ</sup>に住むなまけもの<sup>す</sup>のくん。  
ゆっくりゆっくりおりていくと…

## 『きちょうめんななまけもの』

村上 康成／絵 教育画劇

どうぶつえん  
動物園のナマケモノ、木にへばりついてるだけにみえる  
でしょ？ところが、どうぶつえん し  
動物園が閉まると…

## 『ゆっくりがいっぱい！』

エリック・カール／さく 偕成社

ゆっくり、のんびり、おっとり… それがぼくのやりかたさ。

## 『どうぶつたちのおやすみなさい』

デイヴィッド・ウォーカー／え 岩崎書店

どうぶつ こ  
動物の子どもたちも、おやすみなさいのあいさつを  
するの？なまけものの子どもは…？



しょうかいします  
こんな本 No.74

かぶってすてき

# ぼうしのえほん

## 『まあすけのぼうし』

馬場 のぼる／作・絵 ポプラ社

なかなか<sup>じてんしゃ</sup>自転車にうまく<sup>の</sup>乗れないまあすけに、  
おじさんが<sup>ぼうし</sup>帽子をくれました。

## 『ぼくのたいせつなぼうし』

ヒド・ファン・ヘネヒテン／さく・え フレーベル館

<sup>たび</sup>旅の途中で<sup>とちゅう</sup>帽子をなくした<sup>ぼうし</sup>クルに、<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>ぼうし</sup>帽子を  
<sup>か</sup>貸してあげたいんだけど…

## 『ミリーのすてきなぼうし』

きたむら さとし／作 BL出版

ぼうし や てんちょう  
帽子屋の店長さんがみつけてくれた素敵な帽子。

そうぞう      じゆう      へんしん  
想像しだいで自由に变身します。

## 『ぼうし』

長 新太／さく のら書店

どうぶつたちがぼうしをかぶったら、どうなるでしょう。

## 『ぼうしのおうち』

エルサ・バスコフ／さく・え 福音館書店

こびとのいっか一家がすんでいる変わった家は、誰かが

わす      ぼうし  
忘れていった帽子でした。



しょうかいします  
こんな本 No.75

しろくてぷるん

# とうふのえほん

## 『おとうふちゃん』

わたなべ あや／作 学研

<sup>け さ</sup>  
今朝のみそしるには、おとうふがない。おとうふちゃんたちは、みそしるのプールにあきたんだって。

## 『とうふこぞう』

せな けいこ／作 童心社

ばけものにしちゃあ<sup>よわ</sup>弱いとうふこぞう、人間にしちゃあ<sup>にんげん</sup>  
<sup>つよ こぞう</sup>強い小僧さん。<sup>よ</sup>良い<sup>ともだち</sup>友達になれそうだ。

## 『おとうふやさん』

飯野 まき／さく 福音館書店

とうふや <sup>みせ</sup> 店の裏には見たこともない <sup>きかい</sup> 機械がいっぱい。  
<sup>だいず</sup> 大豆が <sup>しろ</sup> まっ白い <sup>とうふ</sup> 豆腐になっていきます。

## 『とうふちゃん』

あだち とも／作 絵本館

とうふちゃん、おなべしようよー。とうふちゃんは  
どこへ <sup>い</sup> 行ってしまったのでしょうか？

## 『おとうふさんとこんにゃくさん』

にしまき かやこ／え 童心社

おとうふさんが <sup>たな</sup> 棚から <sup>お</sup> 落ちた。こんにゃくさんが <sup>み</sup> お見舞い  
にいくと…。 <sup>こえ</sup> 声に出して <sup>だ</sup> 読みたい <sup>よ</sup> 絵本 <sup>えほん</sup>。



しょうかいします  
こんな本 No.76

ざわざわ、がやがや

# うるさい！の えほん

## 『やかましい！』

シムズ・タバック／絵 フレーベル館

いろ おと ねむ  
色んな音がやかましくて眠れないおじいさん。

ものしりはかせに相談にいきました。

## 『うるさいアパート』

ブライアン・ビッグズ／絵 あすなろ書房

うえ き なん おと  
上から聞こえるのは何の音？ららら～、ぱっぷぷぷぷ、  
ゴーゴー…ほんとうるさいんだから。

## 『にぎやかなほん！』

レナータ・リウスカ／絵 光村教育図書

この世にはたくさんの音がある。何の音か当ててごらん。

## 『ああうるさい』

マックス・ベルジュイス／文と絵 セーラー出版

ワニくんたら、毎日夢中でバイオリンの練習。

となりのゾウさんはうるさくってたまらない！

## 『ガール・イン・レッド』

ロベルト・インノチェンティ／原案／絵 西村書店

赤いコートのソフィアは、騒音と色であふれる”森”をぬけ、

おばあさんの家へ。現代版あかずきん。



しょうかいします  
こんな本 No.77

あかくてまあるい

## りんごのえほん

### 『りんごのき』

ヘレナ・ズマトリーカバー／え 福音館書店

ゆき ひ なに き は  
雪の日には何もついていなかった木が、葉をつけ、  
はな そだ  
花をつけ、育っていきます。

### 『だるまちゃん・りんごんちゃん』

かこ さとし／さく 瑞雲舎

むら ふ し ぎ  
りんごん村には不思議なかわいりんごがたくさん。  
たの  
りんごんまつりは楽しいもよおしがたくさん。

## 『りんごのえほん』

クリスティーナ・ディーグマン／え 偕成社

みんなりんごがだいすき。りんごのせい精がりんごの木の  
いちねんしょうかい一年を紹介します。スウェーデンのえほん絵本。

## 『モリくんのりんごカー』

かんべ あやこ／作 くもん出版

ゆき雪できらきらがやいたもり森に、あか赤いりんごカーが  
はしっていきます。

## 『エレンのりんごの木』

カタリーナ・クルースヴァル／さく 評論社

エレンのいえにわにあるじまん自慢のりんごの木。

おおゆき大雪でたお倒れてしまうなんて！



しょうかいします  
こんな本 No.78

ひと  
どんな人がえがいたの？  
が か  
画家のえほん

『アンリ・ルソー』

アマンダ・ホール／え 六耀社

アンリは「<sup>が か</sup>画家になりたい」という<sup>ゆめ</sup>夢をあきらめきれず、  
<sup>しごと</sup>仕事をしながら<sup>え</sup>絵の<sup>しゅぎょう</sup>修業をしました。

『おしえて、レンブラントさん』

マルティン・ファン・デル・リンデン／絵 BL出版

この<sup>え</sup>絵の<sup>うら</sup>裏にはどんな<sup>ものがたり</sup>物語がかくされているの  
でしょう？名画「<sup>めいが</sup>夜警」から<sup>う</sup>生まれた<sup>ものがたり</sup>物語。

## 『シャガール』

ビンバ・ランドマン／文・絵 西村書店

ユダヤ<sup>きょうと</sup>教徒は人物<sup>じんぶつ</sup>を描<sup>えが</sup>いてはならない…それでも彼は<sup>かれ</sup>  
描<sup>えが</sup>かずにはいられなかったのです。

## 『ケイティとイギリスの<sup>が か</sup>画家たち』

ジェイムズ・メイヒュー／作 サイエンティスト社

美術館<sup>びじゅつかん</sup>でケイティは「麦<sup>むぎ</sup>畑<sup>ばたけ</sup>」という絵<sup>え</sup>を気<sup>き</sup>に入ります。絵<sup>え</sup>の  
中<sup>ひつじか</sup>の羊飼<sup>しょうねん</sup>いの少年<sup>と</sup>が飛<sup>と</sup>び出<sup>だ</sup>して…

## 『フリーダ・カーロ』

アン・ジー・ファン／え 六耀社

病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>にも事<sup>じ</sup>故<sup>こ</sup>にも負<sup>ま</sup>けず、強<sup>つよ</sup>く生<sup>い</sup>き抜<sup>ぬ</sup>いたフリーダの絵<sup>え</sup>は  
見<sup>み</sup>る人<sup>ひと</sup>をはげまし続<sup>つづ</sup>けます。



しょうかいします  
こんな本 No.79

いちにちのおわり

# おやすみなさいの えほん

## 『スースーとネルネル』

荒井 良二／作 偕成社

スースーとネルネルはなかなか<sup>ね</sup>寝<sup>こ</sup>ない子どもたちです。

<sup>ねむ</sup>眠くなるまでお<sup>はなし</sup>話<sup>つく</sup>を作ります。

## 『おやすみなさいフランス』

ガース・ウィリアムズ／え 福音館書店

お父<sup>とう</sup>さんとお母<sup>かあ</sup>さんにおやすみなさいのキスをしたけど、

フランスはなかなか<sup>ねむ</sup>眠れません。

## 『ぜったいぜったいねるもんか！』

ニック・マランド／絵 ほるぷ出版

ねむっちゃうのはつまんない。オリバーは、ベッドを  
ぬけだし、お絵<sup>え</sup>かきや手品<sup>てじな</sup>をしたり…

## 『おやすみおやすみみんなおやすみ』

かのう かりん／作・絵 金の星社

どうぶつ<sup>こ</sup>動物の子どもたちは、どんなふう<sup>に</sup>にねるの？

み<sup>えほん</sup>見ているうちに、つられてねちゃいそうな絵本。

## 『あと10ぷんでねるじかん』

ペギー・ラスマン／作・絵 徳間書店

ぼくはもう寝<sup>ね</sup>る時間<sup>じかん</sup>だというのに、ハムスター<sup>いっか</sup>一家が  
やってきたよ！



しょうかいします  
こんな本

No.80

モグモグ、むしゃむしゃ

## たべるのえほん

### 『たべてあげる』

おおの こうへい／え 教育画劇

<sup>だいきら</sup>大嫌いなピーマン。<sup>た</sup>食べたくないな～と<sup>おも</sup>思ったら、  
「たべてあげる」と<sup>ちい</sup>小さな<sup>おとこ</sup>男の<sup>こ</sup>子があらわれた！

### 『くさをはむ』

おくはら ゆめ／作 講談社

<sup>あさ</sup>朝ごはんも、<sup>ひる</sup>昼ごはんも、<sup>ばん</sup>晩ごはんも…  
シマウマの<sup>かぞく</sup>家族の<sup>しょくじ</sup>食事の<sup>ふうけい</sup>風景です。

## 『しんでくれた』

塚本 やすし／絵 佼成出版社

にんげん ほかに い もの  
人間は他の生き物のおかげでいきている。その生き物の  
ためにも、ぼくは生きるんだよ。

## 『ボクは、なんにもならない』

しんどう けいこ／絵 美術出版社

たいよう くさ くさ うし うし ぎゅうにゅう  
太陽が草になり、草が牛になり、牛が牛乳になる。  
そして、ぼくは何になるのだろう。

## 『なにをたべてきたの？』

長野 博一／絵 佼成出版社

おなかがすいたしろぶたくん、きれいなりんごを<sup>た</sup>食べた。  
おや、なんだかいつもと<sup>ちが</sup>違うみたいだよ。



しょうかいします  
こんな本 No.81

いちねんのおわり

# おおみそかの えほん

## 『じょやのかね』

とうごう なりさ／さく 福音館書店

ぼくがちゃんと起きていられたら、パパにお寺に連れて  
いってもらえる。除夜の鐘をつくんだよ。

## 『かさじぞう』

黒井 健／画 童心社

ある年の暮れのこと。かさつくりのじいは、売れ残った  
かさを六じぞうさまにかぶせました。

## 『のんびりやのサンタクロース』

田中 六大／絵 あかね書房

クリスマスがとっくに過ぎ<sup>す</sup>ているのに、いったい  
どこへ行<sup>い</sup>くの？

## 『きょうとあしたのさかいめ』

渡辺 有一／絵 教育画劇

おお 大みそかには、はや ね 早く寝ないでいいんだよね。  
きょう あした 今日と明日のさかいがどうなってるか見る<sup>み</sup>んだあ。

## 『マッチうりの女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>』

スベン・オットー／絵 童話館

おお 大みそかのごちそうのおいしそうなにおいがします。  
おんな こ いえ かえ それでも 女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>は家に帰<sup>かえ</sup>ることができません。



しょうかいします  
こんな本 No.82

あたまにのってる

## ちょんまげのえほん

### 『江戸<sup>えど</sup>の子ども<sup>こ</sup>ちょんまげのひみつ』

菊地 ひと美／作 偕成社

ちょんまげ<sup>すがた</sup> 姿<sup>おとな</sup> は大人<sup>う</sup>のあかし。生まれてからちょんまげに  
なるまでの様子<sup>ようす</sup>がわかります。

### 『ちょんまげとのさま』

遠山 繁年／作・絵 鈴木出版

とびきり<sup>おお</sup>大きくてりっぱなちょんまげの殿様<sup>とのさま</sup>は、  
たいそういばっていました。

## 『ちょんまげとんだ』

広瀬 克也／絵 くもん出版

かぜ ふ 風が吹いて、おすもうさんのちょんまげが飛んだ！

ちょんまげ、どこへ行く？！

## 『なんでやねん』

あおき ひろえ／絵 世界文化社

あさお は 朝起きたら、ちょんまげ生えてた！！

## 『ものすごくながいちょんまげのとのさまと ものすごくながいおひげのおうさま』

石崎 なおこ／作・絵 教育画劇

じ ま ん と の さ ま じ ま ん お う さ ま  
ちょんまげ自慢の殿様とおひげ自慢の王様のくらべっこ！



しょうかいします  
こんな本 No.83

ホカホカ、だいすき！

# ホットケーキの えほん

## 『ホットケーキできあがり！』

エリック・カール／作 偕成社

ホットケーキを<sup>つく</sup>作るには、まず、<sup>こむぎこ</sup>小麦粉<sup>ようい</sup>を用意しなくっちゃ。

## 『くうちゃんのホットケーキ 』

わたなべ ゆうこ／作・絵 ポプラ社

くうちゃんは、ホットケーキを<sup>じぶん</sup>自分で<sup>つく</sup>作れるんです…！

## 『ホットケーキのおうさま』

朝倉 世界一／絵 WAVE出版

たくさんのホットケーキたちが、われこそが<sup>おう</sup>王さまと、  
<sup>みりよく</sup>魅力を<sup>きそ</sup>競い<sup>あ</sup>合います。

## 『もしもこぶたにホットケーキをあげると』

フェリシア・ボンド／絵 岩崎書店

もしも、こぶたにホットケーキをあげると、  
シロップもほしいっていうよね…

## 『ねずみくんとホットケーキ』

上野 紀子／絵 ポプラ社

<sup>りょうりじょうず</sup>お料理上手な <sup>つく</sup>ねみちゃんが作ってくれるんだって！  
みんなで<sup>た</sup>食べ<sup>い</sup>に行こう。



しょうかいします  
こんな本 No.84

ひはまたのぼる

## いちにちのえほん

### 『12にんのいちにち』

杉田 比呂美／作 あすなろ書房

パン<sup>や</sup>屋さん、看護<sup>かんごし</sup>師さん、あかちゃん…？

いちにち<sup>す</sup>の過<sup>かた</sup>ごし方は、人<sup>ひと</sup>それぞれ。

### 『くうこうのいちにち』

インクリンク／絵 学研教育出版

くうこう<sup>ひと</sup>空港にはたくさんの人<sup>おとず</sup>が訪<sup>ひと</sup>れて、たくさんの人<sup>ひと</sup>が

はたら<sup>きょう</sup>働いて…今日もいろいろなことがありました。

## 『1ねん1くみの1にち』

川島 敏生／写真・文 アリス館

<sup>ねん</sup>1年<sup>くみ</sup>1組<sup>きょうしつ</sup>の教室。一人、二人と<sup>ひとり</sup>登校して、<sup>ふたり</sup>新しい一日が  
<sup>とうこう</sup>  
<sup>あた</sup>はじ<sup>いちにち</sup>まります。

## 『いちにちでいいから』

マルク・ブタヴァン／絵 フレーベル館

<sup>いちにち</sup>一日<sup>なに</sup>だけ、何にでもなれるとしたら、<sup>なに</sup>何になりたい？

## 『さいこうのいちにち』

トニー・ロス／絵 評論社

<sup>ちじょう</sup>地上<sup>いちにち</sup>で一日<sup>い</sup>だけ生きるカゲロウ。今日は、<sup>きょう</sup>最初の<sup>さいしょ</sup>日で、  
<sup>さいご</sup>最後<sup>ひ</sup>の日。



しょうかいします  
こんな本 No.85

いらなくなったら…

## ゴミのえほん

### 『さあ、たべてやる！』

ジム・マクマラン／え 評論社

<sup>た</sup> <sup>もの</sup> <sup>す</sup> <sup>た</sup>  
食べ物は、みんなが捨てたゴミ。食べたら、ぎゅーつと  
つぶす。おいらが<sup>だれ</sup>誰かわかるかな？

### 『ごみじゃない！』

minchi／作・絵 PHP研究所

ごみみたいだけど、ごみじゃない。

<sup>わたし</sup> <sup>たからもの</sup>  
みーんな私の宝物だよ。

## 『やまからにげてきた・ゴミをぽいぽい』

田島 征三／作 童心社

にんげん　べんり　せいかつ　どうぶつ　く　やま  
人間の便利な生活は、動物たちが暮らす山とつながって  
いる…。ぜんご　よ　ほん  
前後、どちらからも読める本。

## 『スラムにひびくバイオリン』

サリー・ワーン・コンポート／絵 汐文社

やま　うつく　おんがく　う　がっき  
ゴミの山には美しい音楽が埋もれていた。ゴミを楽器に  
か　はなし  
変えた、リサイクル・オーケストラの話。

## 『にんげんごみばこ』

のぶみ／作 えほんの杜

ひと　ひと  
いない人、きれいな人は、にんげんごみばこに  
す  
捨ててしまおう。



しょうかいします  
こんな本 No.86

ぶんぶんぶん

## みつばちのえほん

### 『ミツバチぎんのおくりもの』

おぐら ひろかず／絵 鈴木出版

ぎんはおとの羽音はおじいさんのバイオリンにそっくり。

おじいさんとミツバチこころ こうりゅう ものがたりの心の交流の物語。

### 『はちみつ』

いせ ひでこ／絵 福音館書店

わたし 私のお父さんとうは養蜂家ようほうかです。たくさんの蜜蜂みつばちを飼かって

はちみつをとって暮くらしています。

## 『みつばち ぴい』

和田 誠／絵 フレーベル館

はたら もの  
働き者のみつばちたち。おや、ひとりだけなんにも  
しないで、ねているみつばちがいますよ。

## 『みつばちみつひめ どどんとなつまつりの<sup>かん</sup>巻』

秋山 あゆ子／作 ブロンズ新社

こうきしんおうせい  
好奇心旺盛な、みつひめさま。まちの<sup>なつ</sup>夏まつりへくりだし  
ました。

## 『しりたがりやのこいぬとみつばち』

ミレル／え 偕成社

いえ きょうみしんしん なか  
こいぬはみつばちの家に興味津々。中にはみつが  
いっぱいです。



しょうかいします  
こんな本 No.87

みえないけれどいるんだよ

## こびとのえほん

### 『おかしのまち』

青山 邦彦／作・絵 フレーベル館

<sup>かし</sup>や <sup>す</sup>お菓子屋さんに住む、おてつだいこびと。ある日、  
<sup>しゅじん</sup>主人とけんかをしてたくらんだことは…

### 『おたすけこびとのにちようび』

コヨセ ジュンジ／絵 徳間書店

こまったときは、<sup>なん</sup>何でも <sup>たす</sup>お助け。

そんなおたすけこびとたちにも、<sup>やす</sup>お休みがあります。

こびと  
『フィンランドの小人たちトントウ』

マウリ・クナス／作 猫の言葉社

トントウは家の<sup>いえ</sup>守り<sup>まも</sup>神<sup>かみ</sup>。音楽<sup>おんがく</sup>好き<sup>ず</sup>、食<sup>く</sup>いしんぼう、  
おこりっ<sup>いろ</sup>ぽい、色んなトントウがいるんです。

『こびとかな』

おがわ ようこ／さく・え フレーベル館

ぼうしとおひげの、ゆかいなこびとたちの<sup>すがた</sup>姿で、  
ひらがなを<sup>あらわ</sup>表します。

『こびとのくつや』

バーナデット・ワッツ／絵 西村書店

まず<sup>くつや</sup> 靴屋が、昨日<sup>きのう</sup>の続き<sup>つづ</sup>の仕事<sup>しごと</sup>にかかろうとすると、  
もう靴は上手<sup>くつ</sup>にぬ<sup>じょうず</sup>ってありました。



しょうかいします  
こんな本 No.88

けろけろけろっ

## かえるのえほん

### 『カエルのおでかけ』

高畠 那生／作 フレーベル館

そとはどしゃぶりのいい<sup>てんき</sup>天気！

かえるにとってはいい<sup>てんき</sup>天気！

### 『オレ、カエルやめるや』

マイク・ボルト／え マイクロマガジン社

オレ、かえるやめてネコになるや。

なんで？ネコになれないんだ？！

## 『弾<sup>ひ</sup>きがえる』

市居 みか／絵 子どもの未来社

3人兄<sup>きょうだい</sup>弟<sup>れんしゅう</sup>がバイオリンを練習していると、  
池<sup>いけ</sup>のかえるにたのまれ、かえるの家<sup>いえ</sup>で弾<sup>ひ</sup>くことに…

## 『カエルのえいゆうサー・リリパッド』

サラ・オギルヴィー／絵 フレーベル館

小さいカエルのリリパッド。カエルの英雄<sup>えいゆう</sup>になりたいくて、  
とらわれのお姫<sup>ひめ</sup>さまをさが<sup>さが</sup>しにいけますが…

## 『かえるの竹取<sup>たけとり</sup>ものがたり』

斎藤 隆夫／絵 福音館書店

おなじみのかぐや姫<sup>ひめ</sup>の物語<sup>ものがたり</sup>。登場人物<sup>とうじょうじんぶつ</sup>をかえるに  
変<sup>か</sup>えた、絵巻<sup>えまき</sup>のような絵本<sup>えほん</sup>。



しょうかいします  
こんな本 No.89

すてきでしょ  
**おようふくの  
えほん**

**『わたしのワンピース』**

にしまき かやこ／えとぶん こぐま社  
まっしろなきれでワンピースをつくったの。  
とてもすてきなワンピースなのよ。

**『おばけのドレス』**

はせがわ さとみ／作・絵 絵本塾出版  
<sup>まど</sup>窓のすきまから、まっしろのふわふわしたものが  
<sup>はい</sup>入ってきて、それを<sup>き</sup>着てみると…

## 『のはらのスカート』

南塚 直子／絵 岩崎書店

おかあさんが作<sup>つく</sup>ってくれたスカートには、ちょうちょの  
ししゅうがいっぱい！みんなに見<sup>み</sup>せてこよう。

## 『ねずみくんのチョッキ』

上野 紀子／絵 ポプラ社

ねずみくんの大切<sup>たいせつ</sup>なチョッキ。「いいチョッキだね」と  
みんなが順<sup>じゅんばん</sup>番<sup>ばん</sup>に着<sup>き</sup>たら…

## 『おじいちゃんのコート』

バーバラ・マクリントック／絵 ほるぷ出版

おじいちゃんの人生<sup>じんせい</sup>によりそって大切<sup>たいせつ</sup>にされたコート。  
だんだんに形<sup>かたち</sup>を<sup>か</sup>え、最後<sup>さいご</sup>には…



しょうかいします  
こんな本 No.90

さらさらかけるよ

## えんぴつのえほん

### 『くまさんのおたすけえんぴつ』

アンソニー・ブラウン／さく BL出版

か 書いたものがほんとうになる魔法のえんぴつで、くまさんは  
ハンターからに逃げられるのか？！

### 『えんぴつのおすもう』

かとう まふみ／作・絵 偕成社

ある夜のここと。机の上の土俵では、えんぴつたちの  
おすもう大会が開かれました。

## 『<sup>てんし</sup>天使のえんぴつ』

クエンティン・ブレイク／作 評論社

クルッピーとウカレッピーは<sup>てんし</sup>天使なんです。

ふたりは<sup>とくべつ</sup>特別なえんぴつを<sup>ほんも</sup>1本持っています。

## 『えんぴつはかせ』

山岡 ひかる／作 偕成社

ぼんやりとしていただけなのに、<sup>き</sup>気がつく<sup>もんだい</sup>と問題が  
とけていた！

## 『おじいさんのえんぴつ』

マイケル・フォアマン／作・絵 金の星社

<sup>おとこ</sup>男<sup>こ</sup>の子が<sup>はい</sup>ベッドに<sup>ゆめ</sup>入り<sup>み</sup>夢を<sup>ふる</sup>見ている<sup>ふる</sup>ころ、<sup>ふる</sup>古いえんぴつ  
は、<sup>ものがたり</sup>物語<sup>か</sup>を書きはじめました。



しょうかいします  
こんな本 No.91

みんなのいこいの<sup>ば</sup>場

# こうえんのえほん

## 『こうえんのかみさま』

すぎはら ともこ／作・絵 徳間書店

むし<sup>ず</sup>好きのけんちゃんに<sup>あそ</sup>遊んでほしくて、<sup>いっしょうけんめい</sup>一生懸命  
とったトンボに<sup>の</sup>乗っていたのは、なんと<sup>かみさま</sup>神様！

## 『こうえんで…4つのお<sup>はなし</sup>話』

アンソニー・ブラウン／さく 評論社

まど  
窓のすきまから、まっしろのふわふわしたものが  
<sup>はい</sup>入ってきて、それを<sup>き</sup>着てみると…

## 『ふたごのひよちゃん』

ひよちゃんはじめてのすべりだい』

バレリー・ゴルバチョフ／作・絵 徳間書店

ひよちゃん、ひよちゃんの公園デビュー！

公園では、みんなが色々なことをしています。

## 『虔十公園林』

伊藤 秀男／絵 三起商行

人にばかにされても、虔十は700本の杉の木を植え続け  
ました。宮沢賢治の童話。

## 『ピッピ、公園でわるものたいじ』

イングリッド・ニイマン／絵 徳間書店

公園であばれる悪者は、ピッピがゆるさないからね！

世界一強い女の子、ピッピのシリーズ。



しょうかいします  
こんな本 No.92

どうか、おてんきにして！

# てるてるぼうず のえほん

## 『てるてるぼうずとふりふりぼうず』

せな けいこ／作・絵 金の星社

は す ねこ  
晴れが好きな猫はてるてるぼうずを、あめ す いぬ  
ふりふりぼうずをつく  
を作りました。

## 『コッコさんとあめふり』

片山 健／さく・え 福音館書店

てるてるぼうずをつく まいにち  
を作っても、毎日あめふりばかり。

コッコさんは、いっしょうけんめい ねが  
一生懸命お願いをします。

# 『あっぱれ！てるてる<sup>おうじ</sup>王子』

コマヤスカン／作 講談社

あした えんそく たいふう ぼうず こ  
明日は遠足。でも台風やって。てるてる坊主を100個  
つく ねが  
作ってお願いするわ。

# 『あたし、ピーカンちゃん』

大森 裕子／作 教育画劇

あたしは、そこらのてるてるぼうずとは<sup>ちが</sup>違うのよ。  
ひゃっぱつひやくちゅう は おんな  
百発百中の晴れ女なんだから！

# 『てるてるひめ』

長尾 紀壽／絵 新日本出版社

むすめ つく ぼうず むら せいてんつづ  
娘の作ったてるてる坊主で村は晴天続き。このままでは、  
た みず  
田んぼに水がなくなってしまう。



しょうかいします  
こんな本 No.93

もりのようせい

## りすのえほん

### 『おひっこし』

及川 賢治, 竹内 繭子／作 学研

たくさんのりすが穴から<sup>あな</sup>出てきた。<sup>で</sup>ぞろぞろぞろぞろと  
<sup>ある</sup>歩いていく…

### 『りすでんわ』

高橋 和枝／著 白泉社

<sup>まち</sup>街には、<sup>でんわ</sup>電話という<sup>べんり</sup>便利なものがあるらしい。

りすたちは、<sup>でんわ</sup>電話をつくることにしました。

## 『ホーじいさんとヤムの桃<sup>もも</sup>』

喜多嶋 洋子／え・ぶん 白泉社

やさ 優<sup>やさ</sup>しいヤムかあさんの贈<sup>おく</sup>り物の桃<sup>もも</sup>の木と3匹<sup>き</sup>の子リスは、  
ホーじいさんに見<sup>み</sup>守<sup>まも</sup>られて育<sup>そだ</sup>ちます。

## 『3びきこりすのケーキやさん』

権田 章江／作・絵 教育画劇

ようこそ、いらっしゃいませ！おなやみ、こまりごと、  
おいしいケーキでなおしちゃいます。

## 『りすのナトキンのおはなし』

ビアトリクス・ポター／さく・え 福音館書店

しま き み 島の木の実とりをゆるしてもらうため、りすたちは  
ブラウンじいさまにねが<sup>ねが</sup>いしにいきました。



しょうかいします  
こんな本 No.94

もういいか〜い？  
**かくれんぼの  
えほん**

**『まよなかのかくれんぼ』**

織茂 恭子／作 リーブル

たっくんが猫<sup>ねこ</sup>のポロンとまよなかの森<sup>もり</sup>へでかけると、  
かくれんぼがはじまりました。

**『おもちゃびじゅつかんでかくれんぼ』**

デイヴィッド・ルーカス／作 徳間書店

ある夜<sup>よる</sup>、どうしたことが、おもちゃたちはいっせいに  
走り出<sup>はし</sup>し、いなくな<sup>だ</sup>ってしまいました！

## 『かくれんぼ』

種村 有希子／作 アリス館

ミミちゃんはかくれんぼがきらい。なぜって、  
ひとりでかくれるのがこわいから。

## 『ないしょのかくれんぼ』

バーバラ・マクリントック／絵 ほるぷ出版

マリアとねずみのネズネズは、ないしょのお友<sup>とも</sup>だち。  
それぞれのママをさがしていましたが…

## 『かくれんぼ』

池 貴巳子／文・絵 福音館書店

きょう  
今日はおばあちゃんちでかくれんぼ。もういいかいー  
まあだだよ。朝鮮半島<sup>ちょうせんはんとう</sup>のわらべうた。



しょうかいします  
こんな本 No.95

かいてつたえよう

## てがみのえほん

### 『てがみぼうやのゆくところ』

加藤 晶子／作 講談社

ぼくは、ポストへ入れられた<sup>い</sup>手紙<sup>てがみ</sup>。となりまちの  
おばあちゃんのところへいくんだ。

### 『たんじょうびのふしぎなてがみ』

エリック＝カール／さく・え 偕成社

あした たんじょうび まくら した ふうとう み  
明日は誕生日。チムは枕の下から封筒を見つけました。

ふうとう なか なぞ てがみ  
封筒の中には、謎の手紙…！

## 『たいせつなてがみ』

マックス・ベルジュイス／絵と文 セーラー出版

おうさま おく だいじ てがみ ぶ じ とど  
王様がアメリカへ送った大事な手紙。無事に届くか  
しんぱい てがみ お  
心配なワニくんは、手紙を追いかけた。

## 『てがみをください』

むらかみ つとむ／え 文研出版

ゆうびんばこ す  
うちの郵便箱をのぞくと、かえるが住んでいた。  
とど てがみ じぶん  
届いた手紙は自分のものだというけれど…

## 『おてがみです』

ガブリエル・バンサン／作 ブックローン出版

あさはや お むら まち いっけん とど い  
朝早く起きて、いくつかの村や町へ一軒ずつ届けに行く。  
ゆうびんや はなし  
ある郵便屋さんのお話。



しょうかいします  
こんな本 No.96

くちのまわりにはえる

## ひげのえほん

### 『おひげおひげ』

西村 敏雄／絵 鈴木出版

ねこにも、おじいさんにもひげがあります。

いいなあ、いいなあ、ぼくもほしいなあ！

### 『ひげじまん』

こしだ ミカ／作 小学館

ひげじまんの<sup>おお</sup>大な<sup>せかいいち</sup>まずは、<sup>さが</sup>世界のひげじまんを探しに、  
ひげをプロペラにして<sup>と</sup>飛び<sup>た</sup>立った！

## 『にげだしたひげ』

シビル・ウェッタシンハ／さく 木城えほんの郷  
バブンじいさんは、<sup>なが</sup>長いひげをねずみにかじってもらって  
いましたが…スリランカのお<sup>はなし</sup>話。

## 『ひげひげわたりひげ』

酒巻 恵／作 あかね書房

<sup>はる</sup>春が<sup>き</sup>来た。<sup>ことし</sup>今年もこの<sup>まち</sup>街にひげの<sup>むれ</sup>群が<sup>かえ</sup>帰ってきた。  
いろんなひげが<sup>わた</sup>渡ってきたよ。

## 『ペローの青ひげ』

エリック・バトウー／絵 講談社

<sup>かねも</sup>金持ちの<sup>あお</sup>青いひげの<sup>おとこ</sup>男。その奥<sup>おくがた</sup>方は、<sup>み</sup>見てはならぬと  
<sup>い</sup>言われていた<sup>へや</sup>部屋を<sup>み</sup>見て<sup>ひみつ</sup>秘密を<sup>し</sup>知ってしまう…



しょうかいします  
こんな本 No.97

あしがはっぽん  
タコのえほん

『タコやん』

南 伸坊／え 福音館書店

ある日、しょうちゃんの家に来たタコやん。タコと  
遊ぶのはいやだなあ、とおもっていたら…

『だいくのたこ8さん』

田中 六大／絵 くもん出版

名人たこ8さんに建てられない家はない。おかしな  
住人たちの家の悩みを次々と解決します！

## 『うみのポストくん』

村上 康成／絵 教育画劇

<sup>あか</sup>赤いまるいポストは、タコにそっくり。タコは<sup>まいにち</sup>毎日、  
ポストのところに<sup>あそ</sup>遊びにいきました。

## 『たこなんかじゃないよ』

秋野 亥左牟／絵 福音館書店

<sup>おお</sup>大きなサンゴの<sup>あな</sup>穴から<sup>で</sup>出たたこは、<sup>いろ</sup>色や<sup>かたち</sup>形をかえながら  
<sup>うみ</sup>海の中を<sup>なか</sup>散歩<sup>さんぽ</sup>します。

## 『タコのオクトくん』

高畠 純／え ポプラ社

<sup>とう</sup>お父さんと<sup>かあ</sup>お母さんの<sup>こうぶつ</sup>好物のナスビをとってきて  
あげる！オクトくんは<sup>だいぼうけん</sup>大冒険に<sup>しゅっぱつ</sup>出発しました。



しょうかいします  
こんな本 No.98

はっしゃオーライ！  
**バスのえほん**

『ごじょうしゃありがとうございます』

シゲリ カツヒコ／作 ポプラ社

バスに<sup>の</sup>乗って、おばあちゃんに<sup>あ</sup>会いに。終<sup>しゅうてん</sup>点で  
<sup>の</sup>乗りかえたバスは、なんだかへんてこで…

ようかい りょこう  
『妖怪バス旅行』

広瀬 克也／作 絵本館

きょう ようかいよこちょう りょこう  
今日は、妖怪横丁のバス旅行。ふつうじゃな—い、  
<sup>たの</sup>楽<sup>たび</sup>しい旅<sup>あんない</sup>にご案内しま—す！

## 『わたしたちのてんごくバス』

ボブ・グレアム／さく さ・え・ら書房

ステラの家の前に捨てられていたおんぼろバス。

いきさき 行先には「てんごく」と書いていて…。

## 『ムニャムニャゆきのバス』

長 新太／作・絵 偕成社

ベエーベエーとブザーの音。だれかがおりてくるよ。

## 『やまのバス』

村田 エミコ／画 佼成出版社

運転手のやまださんが25年も運転した、

「おくやまゆき」のバスは今日で最後です。



しょうかいします  
こんな本 No.99

ころころころっと  
**どんぐりのえほん**

『どんぐり』

こうや すすむ／さく 福音館書店

みずならの木が、<sup>き</sup>春、<sup>はる</sup>夏、<sup>なつ</sup>秋、<sup>あき</sup>冬、<sup>ふゆ</sup>と<sup>へんか</sup>変化します。

<sup>みの</sup>実ったどんぐりは<sup>もり</sup>森の<sup>どうぶつ</sup>動物たちのえさになります。

<sup>ご や</sup>  
『ドングリ小屋』

いしい つとむ／著 佼成出版社

クラスがえで<sup>べつべつ</sup>別々になったぼくたち。

<sup>ほう か ご</sup>放課後は<sup>ご や</sup>どんぐり小屋へ<sup>しゅうごう</sup>集合だよ。

## 『たったひとつのどんぐりが』

フラン・プレストン＝ガノン／え 評論社

お 落ちたどんぐりが木<sup>き</sup>に育<sup>そだ</sup>つ。鳥<sup>とり</sup>が巣<sup>す</sup>をつくり、花<sup>はな</sup>の種<sup>たね</sup>を  
お 落とす… 命<sup>いのち</sup>のつな<sup>え</sup>がりの絵本<sup>ほん</sup>。

## 『クヌギくんのぼうし』

古沢 たつお／作 風濤社

クヌギくんの大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>な帽<sup>ぼうし</sup>子は、すてきな<sup>ぼうし</sup>帽子<sup>し</sup>。  
みんな、かぶ<sup>かぶ</sup>って<sup>て</sup>み<sup>み</sup>た<sup>た</sup>く<sup>く</sup>なり<sup>なり</sup>ま<sup>ま</sup>す。

## 『どんぐりどらや』

かベや ふよう／え 佼成出版社

もり 森<sup>もり</sup>の奥<sup>おく</sup>でどんぐり<sup>どんぐり</sup>た<sup>た</sup>ち<sup>ち</sup>が、何<sup>なに</sup>やら<sup>やら</sup>お<sup>お</sup>い<sup>い</sup>し<sup>し</sup>そ<sup>そ</sup>う<sup>う</sup>な<sup>な</sup>もの<sup>もの</sup>を  
つく<sup>つく</sup>っ<sup>っ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。どんぐり<sup>どんぐり</sup>ど<sup>ど</sup>ら<sup>ら</sup>や<sup>や</sup>へ<sup>へ</sup>よ<sup>よ</sup>う<sup>う</sup>こ<sup>こ</sup>そ<sup>そ</sup>！



しょうかいします  
こんな本  
No.100

ごうきねん  
100号記念！

## ひゃくのえほん

『おうさまがかえってくる100びょうまえ！』

柏原 佳世子／作 えほんの杜

おう           へ   や   あそ           けらい           びょう  
王さまの部屋で遊んでいた家来たち。あと100秒で

おう           かえ  
王さまが帰ってくるぞ！さあかたづけろ！

『ひゃくえんだま』

荒井 良二／絵 鈴木出版

ひゃくえんだま  
百円玉をもらって、うれしくてうれしくて、手のひらに

にぎったままねむ  
眠ったら…

## 『100にんのサンタクロース』

谷口 智則／作・絵 文溪堂

クリスマスの<sup>じゅんぴ</sup>準備はたくさん！

だから100人<sup>にん</sup>みんなで<sup>ちから</sup>力をあわせるんだ。

## 『100年<sup>ねん</sup>たったら』

あべ 弘士／絵 アリス館

ライオンは、<sup>と</sup>飛べない<sup>とり</sup>鳥を<sup>た</sup>食べずにいっしょに  
<sup>す</sup>過ごすことを<sup>えら</sup>選んだ。そして、<sup>つきひ</sup>月日<sup>た</sup>が経ち…

## 『100回<sup>かい</sup>いったでしょ！』

クラウディア・ラヌッチ／絵 講談社

100回<sup>かい</sup>も言<sup>い</sup>ったでしょ、とママはいうけれど、

<sup>なん</sup>何<sup>は</sup>のこと<sup>おも</sup>だったかな？<sup>だ</sup>早く<sup>だ</sup>思い出さなきゃ…！

## 『100にんのサンタクロース』

谷口 智則／作・絵 文溪堂

クリスマスの<sup>じゅんぴ</sup>準備はたくさん！

だから100人<sup>にん</sup>みんなで<sup>ちから</sup>力をあわせるんだ。

## 『100年<sup>ねん</sup>たったら』

あべ 弘士／絵 アリス館

ライオンは、<sup>と</sup>飛べない<sup>とり</sup>鳥を<sup>た</sup>食べずにいっしょに

<sup>す</sup>過ごすことを<sup>えら</sup>選んだ。そして、<sup>つきひ</sup>月日<sup>た</sup>が経ち…

## 『100回<sup>かい</sup>いったでしょ！』

クラウディア・ラヌッチ／絵 講談社

100回<sup>かい</sup>も言<sup>い</sup>ったでしょ、とママはいうけれど、

<sup>なん</sup>何<sup>は</sup>のこと<sup>は</sup>だったかな？<sup>おも</sup>早く<sup>だ</sup>思い出さなきゃ…！



しょうかいします こんな本

